

廿日市市図書館基本計画



令和2年3月

はつかいち市民図書館

令和7年3月〔改定〕

【目次】

第1章 計画策定に当たって	
1 策定の趣旨	2
2 計画の位置づけ	2
3 計画期間	3
第2章 廿日市市図書館の現状と課題	
1 廿日市市図書館の特徴	4
2 廿日市市図書館の概要	5
3 意識調査の傾向	6
4 はつかいち市民図書館協議会の意見	12
5 明らかになった課題	13
6 今後の取り組みに向けて	14
第3章 基本理念と基本方針	
1 基本理念	15
2 基本方針	15
第4章 図書館サービスの展開	
1 すべての人の居場所としての図書館	16
2 地域の「情報ステーション」としての図書館	19
3 考える市民を育てる図書館	23
4 コミュニティの中核となる図書館	27
5 多様な情報へのアクセスが整備されている図書館	31
第5章 推進体制	
1 基本計画推進のための役割分担と環境整備	34
2 計画の推進、点検、評価	37
参考	
1 廿日市市図書館の設置目的と方針	38
2 サービスの現状	40
資料編（本計画の改定に向けた意識調査の概要 令和5年度実施）	
（1）はつかいち市民図書館利用に関するアンケートの概要 （図書館利用者及び未利用者）	44
（2）高校生アンケートの概要 （高校1～2年生）	50
（3）小中学生アンケートの概要 （小学5～6年生及び中学1～2年生）	56
（4）市職員アンケートの概要	60

第1章 計画策定に当たって

1 策定の趣旨

本市には、図書館が3館あり、平成27年には、はつかいち市民大野図書館（以下、「大野図書館」という。）が開館20周年を迎え、平成29年には、はつかいち市民図書館が開館20周年、はつかいち市民さいき図書館（以下、「さいき図書館」という。）が開館10周年を迎えました。大野図書館は、筏津地区公共施設再編事業基本計画による再整備を進めており、はつかいち市民図書館は、10年以内に施設の大規模改修の時期を迎えることとなります。また、市町村合併により市域の拡大があり、人口減少時代における公共施設再編計画も出されていることから、図書館についても改めて全市域の見直しを図る時期にきているといえます。本計画は、これまで、廿日市市の図書館が果たしてきた役割を確認し、他市との比較や各種アンケート結果も踏まえつつ、今後、10年間の図書館の在り方を明らかにすることを目的に策定しました。

2 計画の位置づけ

本計画は、第6次廿日市市総合計画、第3期廿日市市教育振興基本計画、廿日市市子どもの読書活動推進計画（第3次）を上位計画とし、図書館運営に関する内容を具体化して整理した計画とします。

第6次廿日市市総合計画

基本理念 挑戦！豊かさと活力あるまち はつかいち
～夢と希望をもって世界へ～
方向性4-1 「スポーツや趣味などの身近な挑戦の支援」

第3期廿日市市教育振興基本計画

基本理念「ふるさと廿日市」に愛着と誇りをもち、未来を担う人づくり
基本目標2「自ら学び、学びにより人と人がつながり、まちづくりに寄与する教育の推進」

廿日市市子どもの読書活動推進計画（第3次）

目標 子どもの読書習慣の定着

3 計画期間

計画の期間は、令和2（2020）年度から令和11（2029）年度までの10年間とします。

なお、計画は時代の変化に即した計画とするよう5年ごとに見直しを図ることとしており、はつかいち市民大野図書館が新しい施設となったことなど取組内容に一定の進展があったため、取組の柱について進捗状況を整理し「廿日市市図書館基本計画（令和7年3月改定版）」としてまとめました。

年度	令和1	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	
図書館基本計画	本計画											
								令和7年3月改定版				
図書館システム	更新					再リリース	更新					
総合計画	第6次前期		第6次後期				第7次					
教育振興基本計画	第2期		第3期				第4期					
子どもの読書活動推進計画	第2次		第3次				第4次					
筏津地区公共施設再編事業	基本計画	設計～工事		供用開始								
シビックコア地区整備					基本構想	基本計画等	事業計画、設計等～工事					
個別施設（長寿命化）計画					公共施設の個別施設計画 （長寿命化計画）							
（仮称）生涯学習ビジョン						策定						

第2章 廿日市市図書館の現状と課題

1 廿日市市図書館の特徴

廿日市市には、廿日市地域、大野地域、佐伯地域に、各1館の図書館があります。いずれも、他の公共施設との複合施設で、他の施設との連携を図りやすい利点を備えています。3館とも、立地適正化計画において地域拠点（都市機能誘導地域）に位置しています。

また、大野図書館を拠点として活動している移動図書館車は、廿日市地域大野地域、佐伯地域、吉和地域及び宮島地域の市内全地域を巡回し、地理的に図書館から離れている地域の方々に図書館サービスを提供しています。また、移動図書館車は、保育園への巡回による子育て支援の役割も担っています。

図書館システムの中核を担う廿日市市民図書館、全市域へのサービス展開のための物流拠点となっている大野図書館、中山間地域振興の一翼を担うさいき図書館と、各館の役割分担も明確です。

上段：令和5年度実績(R6.3.31現在)

下段：平成30年度実績(H31.3.31現在)

項目	はつかいち市民図書館	大野図書館	さいき図書館	全体
蔵書数(冊)	254,158	148,916	43,272	446,346
	249,192	155,648	43,431	448,271
登録者数(人)	—	—	—	101,200
	—	—	—	92,935
個人貸出(冊)	455,975	162,871	27,155	646,001
	479,204	131,445	38,644	649,293
登録団体数	98	120	35	253
	115	92	13	220
団体貸出(冊)	8,705	17,512	3,199	29,416
	12,496	18,472	3,671	34,639
固有の業務	統括及び図書館情報システムの一括管理	移動図書館車運行	中山間地域振興	—

2 廿日市市図書館の概要

全国の市区町村立図書館のうち、本市と同規模自治体との比較は次のとおりです。（R6. 4. 1 現在。令和 5 年度実績値）

	廿日市市 R6. 4. 1 現在 令和 5 年度実績値	人口段階別公立図書館 整備状況 R5. 4. 1 現在 令和 4 年度実績値	
	115,658 人	～10 万人	～15 万人
人口（人）	115,658	77,115.6	122,434.3
図書館数	3	2.6	3.0
図書館専有の延床面積（㎡）	3,332.2	3,348.7	4,740.3
自動車図書館台数（台）	1	0.5	0.7
専任職員数	5	5.1	8.4
うち司書	2	2.7	4.7
司書率	40.0	52.9	56.0
非常勤・臨時職員数	22.2	13.7	18.4
うち司書	12.5	公表なし	公表なし
委託・派遣職員数	18.4	8.6	16.3
うち司書	13.8	公表なし	公表なし
蔵書冊数	446,346	322,346.8	484,535.4
うち開架冊数	238,716	190,549.1	260,222.2
図書年間購入冊数	8,944	8,272.8	12,466.3
雑誌年間購入種数	273	164.8	258.7
新聞年間購入種数	30	公表なし	公表なし
登録者数	101,200	39,965.9	62,815.2
貸出点数	646,001	401,988.4	655,565.7
人口当貸出点数	5.6	5.2	5.4
予約件数	140,855	43,531.2	94,949.5
資料費予算（千円）	23,052	19,348.1	32,855.4
うち図書費	17,823	14,336.5	25,854.3
うち雑誌新聞費	4,500	公表なし	公表なし
うち視聴覚費	729	公表なし	公表なし
人口当資料費（円）	199.3	250.9	268.4

※各人口段階の市区町村の平均値。政令指定都市、特別区は除く。

『日本の図書館一統計と名簿—2023』による。

3 意識調査の傾向

(1) 本計画の策定に向けた意識調査

平成30年から令和元年（平成31年）にかけて、図書館利用者、市民センター利用者、未就学児の保護者、小学生の保護者、小・中学生、市職員を対象にそれぞれアンケート調査を実施しました。

この調査では、図書館の利用状況及び利用者の意見を把握するとともに、対象別アンケートによって市民が図書館に求めるサービスやふさわしいと感じる基本理念をたずねました。

【図書館の利用】

今回アンケートに回答していただいた方の8割は図書館を利用していますが、市職員は6割、未就学児の保護者の場合は7割と、少し数字が下がっています。

【図書館を利用する目的（3つまで）】

図書館利用者の半数は「貸出・返却」で、「新聞・雑誌の閲覧」「読書」を選択した人が1割程度います。

市民センター利用者の場合、「本を借りる」が圧倒的に多く、「調べ物」や「読書」がそれに続いています。

未就学児や小学生の保護者の場合は、ほとんどが「本を借りる」で、図書館での滞在時間は短いと推測されます。

小中学生の場合は、「本を借りる」「読書」「調べ物」の順になっています。

市職員は、「本を借りる」「新聞・雑誌の閲覧」「情報の収集」の順になっています。

【図書館ホームページの利用状況】

図書館利用者は36%、市職員は25%が利用しています。

上記以外の市民の方はいずれの層も、利用しているのは2割未満です。

【どんなサービスが充実したら利用したくなるか】

(1) 図書館利用者

「資料の充実」が多く、「テーマに沿った展示や本の紹介」「大人向け行事」が続きます。自由記述では、「ゆったりと読書するスペースの拡大」

「土・日・祝日も含めて開館時間を9時から19時にしてほしい」「貸出

期間を3週間にしてほしい」「貸出冊数を10冊にしてほしい」などがありました。

(2) 市民センター利用者

「資料の充実」「テーマに沿った展示や本の紹介の充実」が多く、「子どもと保護者が楽しめる講座」「子ども連れで楽しめるスペース」「市内公共施設及び商業施設等への返却ポストの設置」「自習できるスペースの設置」がそれに続きます。

(3) 未就学児の保護者

「子ども連れで楽しめるスペース」が圧倒的に多く、「子どもと保護者が楽しめる講座」「テーマに沿った展示や本の紹介の充実」の順になっていて、自由記述にも、子どもが声を出すことを気にせずに図書館でゆったり過ごせる専用のスペースを望む声が多くなっています。

(4) 小学生の保護者

「子ども連れで楽しめるスペース」が最も多く、「テーマに沿った展示や本の紹介の充実」「資料の充実」「フリーWi-Fiスポットの設置」「自習できるスペースの設置」の順で、未就学児の保護者に比べて、より資料や情報へのアクセスの充実を望む傾向が強くなっています。

(5) 小中学生

「自習できるスペース」の設置が最も多く、「フリーWi-Fiスポットの設置」「年齢に応じたおすすめ本の紹介」「資料の充実」などがそれに続いています。

(6) 市職員

「資料の充実」が圧倒的に多く、「自習スペースの設置」「フリーWi-Fiスポットの設置」「憩いの場の提供」「テーマに沿った展示や本の紹介の充実」「市内公共施設及び商業施設等への返却ポストの設置」が続きます。

(7) 自由記述から

利用者アンケートでは、資料についての充実を望む声が圧倒的に多くなっています。また、利用者同士の交流の場を望む声やボランティア活動への参加の希望などもありました。市民のアンケートでは、全体的に、周りに気兼ねなくゆったりと過ごせるスペースの拡大や、飲食スペース、マン

ガやボードゲーム、遊具など多様な使い方のできる図書館を望む声が多く
なっています。貸出し・返却をより身近な施設でできる要望も出ています。

【ふさわしい基本理念は?】

いずれの対象でも、最も支持を集めたのは、「心地よく過ごせる場所へ
行ってみたい図書館、また行きたくなる図書館へ〜」でした。

（１）本計画の改定に向けた意識調査

本計画の中間見直しに向けて、令和5年9月にアンケート調査を実施し、
図書館をよく利用する方にも、ほとんど利用しない方にも広く意見を聞き
ました。

この調査では、WEBアンケートを併用して回答の間口を広げるととも
に、市内にある学校の協力を得て、本計画策定前の調査では回答数の少な
かった若者世代の意識も調査しました。

集計は、一般、高校生、小中学生及び市職員の4つの区分に分けて行い
ました。

各区分の有効回答数は、一般が810件、高校生が905件、小中学生
が256件、市職員が360件で、合計2,331件でした。

なおアンケート結果の詳細データは、資料編として後半に掲載していま
す。

【図書館の利用】

今回アンケートに回答していただいた方の5割は図書館を利用していま
す。区分ごとでは、一般は8割、高校生は2割、小中学生及び市職員は5
割となっており、高校生の利用割合が低い結果でした。

【図書館を利用する目的（いくつでも）】

各区分とも最も多かった回答は「本や雑誌の貸出・返却」で、2番目に
多かった回答は「読書」でした。これら2つの全体に占める割合は6割で
した。

これに続く回答は、一般では、「予約本の受取」「調べ物」「新聞・雑誌
を読む」となっています。

高校生と小中学生では、「調べ物」がこれに続いています。

市職員は、「新聞・雑誌を読む」「予約本の受取」の順でした。

【図書館未利用者が利用していない理由（いくつでも）】

今回のアンケートは、未利用者も対象にしており、利用していない理由は様々ですが、未利用者割合が高い高校生は「使う理由やきっかけがない」と回答した人が2割で最も多い結果でした。参加したい行事の企画など、きっかけがあれば図書館利用が見込まれる可能性があることが分かります。

【どんな機器・設備が充実したら利用したくなるか（5つまで）】

（1）一般

この間では利用者と未利用者に分けて集計しました。利用者の回答の多い順に「カフェ・売店の併設」「館内の座席数」「学習スペース」で、スペースの確保についての要望が強いことが伺えます。

未利用者の回答では多い順に「カフェ・売店の併設」「電源・フリーWi-Fi」「学習スペース」で、スペースの要望以外に、情報へのアクセスしやすい環境も要望が多いことが分かりました。

自由記述では、「図書用カート」「鍵付きロッカー」「市民センターでCDを返却できるようにするクッション袋」などがありました。

（2）高校生

利用者の回答の多い順に「学習スペース」「電源・フリーWi-Fi」「カフェ・売店の併設」でした。

未利用者の回答の多い順に「電源・フリーWi-Fi」「学習スペース」「カフェ・売店の併設」となり、利用の有無に関係なく、要望内容が共通しています。

自由記述はほとんどが未記入でした。

（3）小中学生

利用者の回答の多い順に「持込み飲食・会話可能なスペース」「カフェ・売店の併設」「学習スペース」でした。

未利用者の回答の多い順に「電源・フリーWi-Fi」「カフェ・売店の併設」「持込み飲食・会話可能なスペース」で、いずれの回答も数に大差はありませんでした。

小中学生用アンケートには、質問数を抑え、回答が負担にならないようにするため自由記述欄は設けませんでした。

（4）市職員

利用者の回答の多い順に「座席数」「電源・フリーWi-Fi」「セルフ貸出・

セルフ返却」でした。

未利用者の回答の多い順に「電源・フリーWi-Fi」「カフェ・売店の併設」「学習スペース」となり、一般の結果と同様にスペースの確保及び情報へのアクセスしやすい環境の要望が多い結果でした。

【増えたらよいと思う行事・サービス（3つまで）】

（1）一般

この問も、利用者と未利用者に分けて集計し、利用者の回答の多い順に「大人向け行事」「図書館利用スマートフォンアプリ」「子どもと保護者向け行事」で、多様な内容の行事を望まれていることが伺えます。

未利用者の回答では「図書館利用スマートフォンアプリ」が最も多く「中・高生向け行事」と「貸出・返却場所の増設」が同数でした。

スマートフォンの普及に伴い、アプリを望む声が高いといえます。自由記述では、「新刊本の品揃え向上」「予約が多い本の所蔵数を増やす」などがありました。

（2）高校生

利用者の回答の多い順に「図書館利用スマートフォンアプリ」「中・高生向け行事」「電子書籍」でした。

未利用者の回答の多い順に「中・高生向け行事」「電子書籍」「図書館利用スマートフォンアプリ」で、「中・高生向け行事」及び「電子書籍」への期待があることが分かりました。

（3）小中学生

利用者の回答の多い順に「電子書籍」「図書館利用スマートフォンアプリ」「中・高生向け行事」でした。

未利用者の最も多い回答は「中・高生向け行事」で、続いて「図書館利用スマートフォンアプリ」と「電子書籍」が同数でした。

自由記述では、「まんが図書館」「自由研究コーナー」などがありました。

（4）市職員

利用者の最も多い回答は「図書館利用スマートフォンアプリ」で、続いて「子どもと保護者向け行事」と「電子書籍」が同数でした。

未利用者の回答の多い順に「図書館利用スマートフォンアプリ」と「電子書籍」が同数で、続いて「子どもと保護者向け行事」でした。

自由記述では、「学校図書室との連携」「利用のきっかけとなる話題の提供」などがありました。

【その他の意見から】

(1) 一般

資料の充実を望む声が多く、書店にもない貴重な資料があったとの声もいただきました。その他として開館時間の延長や、静かな空間を求める人と、少し声を出してもよい雰囲気がよいと感じる人の両者から意見がありました。

(2) 高校生

学習スペースを望む声が圧倒的に多くなっています。

(3) 小中学生

資料の充実を望む意見が多かったです。他は、まんがを置いて欲しいという意見や、遊んだり読書をするスペースを広げて欲しい声が目立ちました。

(4) 市職員

資料の充実や多くの人を利用するきっかけを作るイベントなどを開催して欲しいという意見や、子ども連れでも気にせず利用できる図書館、子どもから高齢者まで幅広く利用してもらえるみんなの居場所となって欲しいという意見がありました。

4 はつかいち市民図書館協議会の意見

(1) 本計画の策定にあたっての意見

平成30年から令和元年（平成31年）にかけて、はつかいち市民図書館協議会の委員から3回の会議で、意見を頂きました。

【今後の取り組みについての主な意見】

- ・ 滞在スペースについては、近隣の他の施設と連携して確保してはどうか。
 - ・ 親子連れでも気兼ねなく過ごせるスペースの確保が必要。
 - ・ 多様なニーズに対応できるスペースの充実が必要。
 - ・ 業務の自動化によって、相談業務に携われる司書を増やす。
 - ・ 予約処理等の自動化を進める。
 - ・ 資料やイベント、スタッフの充実など、予算の確保が必要。
 - ・ ボランティアの発掘・活用をする。
 - ・ 図書館に来てもらうきっかけとしてのイベントの充実を図る。
 - ・ 全域サービスの視点を。特に遠隔地に図書館サービスを届ける取組をしてはどうか。
 - ・ 返却できる場所の増設をしてはどうか。
 - ・ インターネットで得られる情報提供の充実（商用データベース等）や電子書籍の導入を図る。
 - ・ フリーWi-Fi やパソコン持込み席を設ける。
 - ・ 市民を巻き込んで、図書館で情報をつくり発信をする取組をしてはどうか。（アーカイブ(*)の構築)
 - ・ 「考える市民」を育てる取組をしてはどうか。
 - ・ 行政支援サービスをアピールしてはどうか。
 - ・ 複合施設を生かした健康寿命を延ばす取組をアピールする。
- (*)アーカイブ：過去のデータや記録をある体系に基づいて編纂し、保存すること。

(2) 本計画改定にあたっての意見

令和6年3月26日及び令和6年9月24日に開催したはつかいち市民図書館協議会において各委員から意見を頂きました。

【今後の取り組みについての主な意見】

- ・ 健診の際に一緒に本を借りて帰ることができてよい。
- ・ 学校との連携した事業ができればよい。
- ・ 電子書籍の導入の検討

- ・ 返却ポイントの増設
- ・ 配架の数を減らして、手に取りやすい工夫
- ・ 利用が少ない若い世代が利用してくれるような取組
- ・ 静かなスペースとにぎやかなスペースを作る。
- ・ コロナ禍で減少傾向にある貸出冊数を増やせるように
- ・ 特色のある図書館とするためにはスペースと予算確保が必要
- ・ Wi-Fi 環境の整備及び、利用者のデジタル情報への容易なアクセス
- ・ 自習できるスペースが無いことは課題である。
- ・ 車椅子が通りやすい通路、バリアフリーに対応した施設、いろいろな方が利用しやすいスペースがあればよい。
- ・ 中高生の利用が少ないので、学校などへの団体貸出しなどのアプローチを検討してはどうか。
- ・ 図書館の行事に2次元コードを載せ Web 申込みの仕組みを作ったり、感想も2次元コードから記入できると便利と感じる。

5 明らかになった課題

意識調査及びはつかいち市民図書館協議会の意見を踏まえて、取り組みの必要性が明らかになった課題は次のとおりです。

- ・ 資料の充実
- ・ 多様なニーズに応じたスペースの確保（学習スペース、カフェ等）
- ・ 貸出・返却場所の増設（セルフ貸出・セルフ返却等）
- ・ 情報へのアクセス手段の充実（フリーWi-Fi、電子書籍、図書利用スマートフォンアプリ等）
- ・ イベントや講座の充実

6 今後の取り組みに向けて

- 資料の収集にあたっては市民が必要とする資料、社会的な動向を知ることができる資料など、今後も継続して、幅広く収集していきます。
- 現在策定中の「廿日市市シビックコア地区まちづくり基本計画」において、利用者からの要望が多い多様なニーズに応えることのできるスペースの確保に向け、調整を図っていきます。
- 図書館システム更新時に本館にセルフ貸出機1台の増設を検討しています。また、セルフ返却機についてはセルフ貸出機の利用が浸透し軌道にのった際に検討したいと考えています。
- 情報へのアクセス手段の充実としては、フリーWi-Fiの整備を優先したいと考えており、環境整備のための予算要求を行います。
- 子ども向け行事や大人向け行事は毎年実施できています。今後は、中高生のお薦め本の展示やビブリオバトル（知的書評合戦）など、中高生参加型の行事を企画します。
- 図書館から地域等へ出張したり、団体貸し出しなどにより市民が本に触れる機会を増やすなど、非来館型サービスに取り組みます。

第3章 基本理念と基本方針

1 基本理念（10年後の図書館像）

廿日市市の図書館が、生涯学習を推進する社会教育施設として、また、地域の情報拠点として、人と本、人と人など、様々な「つながり」が生まれる場所となるよう、10年後の図書館像を設定します。

心地よく過ごせる場所

～行ってみたい図書館、また行きたくなる図書館へ～

2 基本方針

基本理念を踏まえた上で、次の5つの基本方針を設定します。

- 1 すべての人の居場所としての図書館
- 2 地域の「情報ステーション」としての図書館
- 3 考える市民を育てる図書館
- 4 コミュニティの中核となる図書館
- 5 多様な情報へのアクセスが整備されている図書館

居場所を求めて立ち寄った人が、情報を得て、考え、行動を起こし、人やモノ・コトとつながっていく。豊かなコミュニティを形成していく。そんな皆さんのお役に立てる図書館でありたいと考えます。そのために、多様な情報へのアクセスができる環境整備を目指します。

第4章 図書館サービスの展開

1 すべての人の居場所としての図書館

(1) 現状

図書館は、多くの人が集う施設です。乳幼児から高齢者まで、様々な目的をもつ人々が訪れています。雑誌や新聞、インターネットの閲覧に始まり、資料の貸出し、複写サービスやレファレンス(*)サービス(調査活動のお手伝い)を受ける人、調べ物や学習で利用する人、読み聞かせ等を楽しむ人など、世代を問わず多様な活動の姿が見られます。

このように、図書館は誰でも自由に出入りでき、安心安全に過ごせる居場所としての役割を求められています。

近年は、従来の読書を静かに楽しみたい利用者のみならず、乳幼児に読み聞かせをしたり、来館者同士でおしゃべりを楽しんだり、自習したり、くつろぎたい等、利用者のニーズが多様化してきています。また、障がいがある方も気兼ねなく図書館を利用できるよう、点字資料や音声資料、対面朗読サービスなどの充実も望まれています。

(*) レファレンス:利用者から寄せられた質問に対し、参考となる資料を提供したり、調査活動の支援をするサービス

(2) 今後の方向性

施設のバリアフリー化やリニューアルなどの環境整備を進めるとともに、利用者が心地よく時間を過ごせる空間を生み出すサービスの実施に努めるため、すべての人にとって気軽に訪れることができ、ゆったりと安らぎを得られる居心地の良い居場所としての図書館を目指します。そのために、多様なニーズに応じて滞在できる空間の確保や環境整備、サービスメニューの充実、丁寧な対応に努めます。

(3) 取組の柱

ア 大野図書館のリニューアル

筏津地区公共施設再編事業により、全世代滞在型図書館を目指し、特に子どもと子育て支援に力を入れたリニューアルを実施します。既存の施設に加えて、子どもの図書館のスペースを確保し、子どもたちが自由に使えるスペースと、静かに読書や自習をすることができるスペースを分離します。

イ はつかいち市民図書館のリニューアル

AV機器コーナーを再編整備して、調べ学習のできる席や開架書架を増やします。館内のサインを見直しして、誰でも本の場所が分かりやすくなるようにします。交流スペース確保のために、会議室を開放します。また、シビックコア地区のまちづくりに併せて、市民が図書館に求めるスペースの確保や機器・設備の充実など集約・再編を検討します。

ウ 多様なニーズに応じるための空間と時間の調整と職員の対応

くつろいで過ごせる空間や子ども連れでも気兼ねなく過ごせる空間や間を生み出します。

利用者が心地よく過ごせるように配慮したお声がけの工夫など丁寧な対応をします。

エ 図書館のバリアフリー化とサービスメニューの充実

誰もが安心して図書館を利用できる対応を工夫します。トイレの洋式化やバリアフリー化を進めます。

対面朗読サービス、大活字本、デージー図書の提供など、障がい者サービスの充実と周知を図ります。

やさしい日本語を使用するなど多文化共生社会への対応をします。

(4) 取組の状況

ア 大野図書館のリニューアル

筏津地区公共施設再編事業が完了し、令和5年3月にリニューアルオープンしました。新しい施設には、こども図書館を設置し子どもと保護者が楽しく本を読んだり読み聞かせが出来るスペースができ、また、静かに読書や学習をすることができるPC・ビジネスコーナー及びスタディコーナーを設置しました。

イ はつかいち市民図書館のリニューアル

配線設備の老朽化により修繕不能となった二人掛け AV 機器コーナーを撤去し、調べ学習のできる机と椅子を4席設けました。

大野図書館で不用となった書架の一部を既存の書架と入れ替え全体をゆったりとした配架としたり、よく探されている資料の場所を大きく表示を出したり等の工夫をしました。

会議室の開放については、出入り口前に調べ物用の机を設置しているため話し声が気になるという意見もあり今後の検討課題となっています。

今後の図書館に求められるスペースの確保や機器・設備を絞り込むため、子

育て世代やボランティア団体への意見聴取を進めています。

ウ 多様なニーズに応じるための空間と時間の調整と職員の対応

はつかいち市民図書館では令和2年8月から毎月第1・3金曜日の10時から12時までを「赤ちゃんタイム」としており、小さなお子さん連れの方にも気兼ねなく利用していただいています。この取り組みは、図書館での過ごし方について小さなお子さんが少しずつ理解していく機会につながることを目的に実施しています。利用者の方へ毎回放送で赤ちゃんタイムの紹介もしています。

エ 図書館のバリアフリー化とサービスメニューの充実

はつかいち市民図書館のトイレを男性用及び女性用とも洋式化しました。

(5) 成果指標・活動指標

指 標	実績値 (平成30年度)	現状 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
人口一人当たりの来館回数 (3館合計)	4.3回	4.6回	4.5回以上
利用アンケートの満足度(職員の対応)	満足・やや満足の割合 92.10%	満足・普通の割合(※) 87.2%	満足・やや満足の割合 93%以上

※ 平成30年度と令和5年度ではアンケートの質問項目が同一ではないため参考値として掲載する。

2 地域の「情報ステーション」としての図書館

(1) 現状

図書館では、書籍、新聞、雑誌、インターネット閲覧、視聴覚資料等を通して、様々な情報にアクセスできます。利用者の求めに応じて必要な情報を探すお手伝いをする司書もいます。新しい知識を得たいとき、困りごとを解決したいとき、身近にある心強いパートナー。それが図書館です。

図書館の蔵書を見渡すと、その地域の利用者のリクエストや歴史を反映し、司書と利用者が協働で作った資料が蓄積されていることがわかります。その膨大な資料の中から、利用者の求めに応じて速やかに必要な資料を準備できるシステムを備えているのも、図書館の強みです。

また、図書館はネットワークによって、他の地域の図書館ともつながっています。市内の他館の資料はもとより、他の市町や県外の図書館にある資料であっても、お住まいの地域の図書館を窓口として提供できます。図書館から離れている地域にお住まいの方や、来館が難しい方には、移動図書館車の運行や団体貸出しサービス、障がい者向けの郵送貸出しなどを実施しています。このように資料の活用を図り、市民に提供していくことが、地域の「情報ステーション」としての図書館の役割です。

I C T化が進み、情報を得る手段も多様化していますが、情報を得るのに対価が必要になるケースも多く、経済格差による情報格差を招く傾向が強くなっているのが現代社会です。そうした時代の中で、図書館は市民の知る自由を保障する機関として、必要な人に必要な情報を無償で届ける、情報のセーフティネットとしての役割を求められています。

さらに、図書館は行政情報の発信でもパートナーとして協力しています。行政資料を収集し、テーマに沿った資料と各種パンフレットなどの情報を一緒に置く展示は、市民の理解を深める手助けとなっています。

(2) 今後の方向性

市民の悩みや課題に寄り添い、解決に向けた支援のできる地域の「情報ステーション」を目指します。そのためには、市民のニーズにあった選書と計画的な除籍による資料の充実を図ると同時に、資料や情報を利用しやすい環境整備、遠隔地サービスやレファレンスサービスの充実とそれらの幅広い周知が求められます。また、行政サービスに役立つ資料をそろえるなど、市職員向けのレファレンスも充実させ、行政支援をします。

(3) 取組の柱

ア 資料の充実

書架に並ぶ資料の新陳代謝を図るために、計画的な購入と除籍を行い、蔵書新鮮度を高めます。

バランスの取れた資料構成となるよう、分野ごとの収集・除籍の基準を設けます。

視聴覚資料の計画的な更新を進めます。

郷土資料や専門資料（市内の世界遺産や病気・健康にかかわる情報、市民のチャレンジを応援する資料・情報など）の収集と関係機関との協力体制をつくり、必要な情報を利用者に届けられるような環境を整えます。

利用者が資料を手に取りやすいよう、配架や展示の工夫をします。

商用データベースやデジタル書籍を導入します。

貸出期間や貸出冊数の見直しを図ります。

イ 資料や情報を検索・予約しやすいシステムの導入と周知

館内や図書館ホームページ上で、利用者自身が資料の検索、予約、利用状況の把握ができるような機能を充実します。また、検索・予約システムの利用促進や課題解決につなげるために、広報活動の充実を図り、資料活用講習会を開催します。

ウ レファレンスの充実と相互貸借・障がい者向け郵送貸出しの周知

職員のレファレンスの力量を高めると同時に、レファレンス事例などを公開して、ニーズを発掘します。

図書館だよりや図書館ホームページ等で、県立図書館や公立図書館、大学図書館から資料の借受けができる相互貸借制度や障がい者向け郵送貸出し、資料のリクエスト受付の周知を図り、利用を増やします。

エ 図書館から離れた地域へお住まいの方へのサービスの提供

移動図書館車の巡回先の拡充や団体貸出しとあわせて、市民センターや学校の協力も得ながら、返却ポイント、予約本受取ポイントの増設のための環境整備を進めるとともに、移動図書館車（平成23年購入）の更新を検討します。

図書館だよりや広報はつかいちなどにより遠隔地サービスの周知を図ります。

オ 行政支援

市役所の各部署と連携して、行政情報を市民に届ける企画展示を実施します。この企画展示に合わせて、関連資料の収集、リスト作成、出張貸出しなどを実施し、行政情報を市民に届ける支援をします。

リクエストに応じて、行政が必要とする資料の収集をし、市職員へのレファレンスを充実します。

各部署から提供された資料を受け入れ、市民に提供することで、行政への理解促進に役立っています。

カ 広報活動

図書館だよりや広報はつかいち、図書館ホームページ、X（旧ツイッター）などを通して、図書館の利用促進につながる広報活動を継続します。

(4) 取組の状況

ア 資料の充実

蔵書新鮮度を高め、利用者が求める情報を最新のもので提供できるよう、計画的に購入と除籍を進めています。

イ 資料や情報を検索・予約しやすいシステムの導入と周知

図書館システムの館内 OPAC(蔵書検索機)から資料の予約や自身の利用状況を確認できるようになりました。また、令和4年3月から未所蔵資料のリクエストの申込みは、来館による申込みに加え図書館ホームページからも出来るようになりました。

図書館システムで使える便利な機能の使い方講座を実施しました。

ウ レファレンスの充実と相互貸借・障がい者向け郵送貸出しの周知

郷土に関するレファレンスで、長い時間をかけて調べた結果を、今後に活用出来るよう、国立国会図書館が運営するレファレンス協同データベースに参画し、本市の収集した情報として令和6年3月から公開を開始しました。

エ 図書館から離れた地域へお住まいの方へのサービスの提供

令和2年11月から移動図書館車が巡回している市民センターでの予約本の受取及び図書館で借りた本の返却受付が出来るようになりました。

また、令和3年9月から移動図書館車が巡回していない市民センターでの返却受付を開始し、令和5年3月に全市民センターで返却受付ができるようになりました。

オ 行政支援

行政情報を市民に提供するため、毎年各部署に呼びかけ、連携した企画展示を行っています。これまでに「健診」「空き家対策」「自殺予防対策」等の資料を各課から取り寄せ、関連本を展示しました。

カ 広報活動

図書館ホームページのトップページに、スライダー(*)を配置し、タイムリーに更新できるよう担当職員の育成を行いました。

(*)スライダー:ウェブページ上で、画像やテキストを横にスライドさせ情報を表示させる機能

(5) 成果指標・活動指標

指標	実績値 (平成30年度)	現状 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
人口一人当たりの蔵書冊数	3.8冊	3.9冊	4.0冊以上
人口百人当たり年間購入図書冊数	8.9冊	7.7冊	9.2冊以上
利用者アンケートの満足度(資料の充実)	満足・やや満足 72.9%	未調査	満足・やや満足 75%以上
予約件数	95,299件	140,855件	100,000件以上

※ コロナ禍以降、資料の予約件数が顕著に伸びました。



X (旧ツイッター) イメージキャラクター はつかいちさくら

3 考える市民を育てる図書館

(1) 現状

読書の習慣は、変化の激しい現代を生き抜くための大きな手掛かりになります。言葉の力によって、知識を蓄え、多様な感じ方・考え方に触れ、自分の内面を確立していくことができます。グローバル化が進み、より多様な他者と分かち合いながら共に生きていくことが求められている現代において、他者理解、自己理解の一助になるのが、読書です。読書によって得られた知識や知恵は、個人の暮らしのみならず、地域社会をも豊かにする原動力になっています。

図書館は、読み聞かせ、学校や保育園との連携等の様々な児童サービスを通して、子どもたちに読書の楽しさを味わうことができる機会を提供し、未来のよき「読書人」を育てようとしています。この活動には、市内外のボランティア、読書推進団体、福祉施設、市民センター等の御協力を頂いています。読書習慣をもつ子ども達の育成は、考える市民を育てることにつながります。図書館資料の展示やレファレンスサービスを通して、考える市民を育成するための支援を行っています。

(2) 今後の方向性

人生100年時代といわれる現代社会において、生涯にわたる学びは必須のものとなっています。それらの生涯学習を支えるための社会教育機関として、資料・情報の提供、読書活動推進やレファレンスサービスの充実と周知を図ります。また、図書館には健康寿命を延ばす効果があるともいわれています。複合施設の中にある図書館ならではの取組を充実させ、健康寿命を延ばすために貢献します。

周辺施設で実施される講座やイベントに関連した資料の提供や企画展示、資料リスト作成などを通して、市民の体験の理解を深める読書や読書から発展する活動等につなげます。さらに、利用者の課題解決につながる講座も実施し、市民の考えるきっかけづくりを提供します。

(3) 取組の柱

ア 学校への支援

調べ学習用に必要な資料を収集し、学校へ提供します。図書館見学、子ども司書、キャリアスタートの受入れを通して、図書館や読書への関心をもつ児童・生徒の育成に協力します。

昔話ボランティア、ブックトーク(*)ボランティア等の派遣事業を継続します。

読書活動推進員研修への協力を継続・発展させます。

(*)ブックトーク:テーマに沿って何冊かの本を順に紹介し、子どもたちに読書への興味を引き出す活動

イ おはなし会や「子どもと本の講座」の開催

館内はもとより、美術ギャラリー、子育て支援スペース、市民センター、保育園などに出向く、おはなし会を継続します。

「子どもと本の講座」の開催により、保護者やボランティアの読書推進活動を支援します。

ウ テーマ展示とレファレンスの充実

市役所の各部署や企業・地域の各種団体と連携したテーマ展示、資料リストの作成、レファレンスを充実させることにより、地域課題について考える市民の支援につなげます。

エ 市民センターとの連携強化

団体貸出し、市民センター図書室にある古い資料の廃棄の支援、図書室ボランティア研修や企画展示の支援などを実施します。

各種講座に関連した出張貸出しや資料リストの作成を実施します。

貸出し・返却ポイントとなる市民センターを増やします。

オ 団体貸出しの周知

読書推進活動に賛同する団体に団体貸出しサービスの周知を充実させ、利用の拡大を図り、読書推進の裾野を広げます。

カ 講座の開催

健康、ビジネス、暮らし、多文化共生など幅広いテーマの講座や資料の探し方講座等を実施し、生涯学習の重要性や図書館の資料活用についての理解を促します。

(4) 取組の状況

ア 学校への支援

毎年、市立小学1年生向けに図書館利用の案内及び利用申込書を配布し、図書館を利用をしたことがない児童とその保護者へPRを行っています。

令和6年8月に市内の小学校5～中学校3年生に広島県立図書館青少年のための電子図書館「With Books ひろしま」の利用者IDを付与し、読書活動推進を取り組みました。

イ おはなし会や「子どもと本の講座」の開催

定例のおはなし会以外にも、市民センターでの出前おはなし会、美術ギャラリーの企画にあわせたおはなし会等連携して取り組みました。

ウ テーマ展示とレファレンスの充実

ウッドワン美術館や宮島歴史民俗資料館等、市内にある施設で開催された展覧会の企画にあわせた資料とチラシの展示、関連資料のリストを配布しました。

エ 市民センターとの連携強化

市民センターの図書室の資料整理について、依頼があった際は、市民センターへ出向き除籍作業等を支援しました。

オ 団体貸出しの周知

団体貸出しは、保育園から小学校までの団体以外にも、高齢者等の社会福祉施設や、読書推進活動団体への貸出し等に広がってきました。

カ 講座の開催

大野図書館では、ビジネス支援につながるワークショップ型の読書会を開催し、図書館の本と関連付けて働くこととは、キャリア教育などについて語り合う場を設けました。

(5) 成果指標・活動指標

指 標	実績値(平成 30年度)	現状 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
おはなし会の回数	延べ211回	延べ238回	延べ215回以上
団体貸出しを利用して いる市民センター数	5館	9館	8館以上
講座の開催回数	5回	13回	5回以上
レファレンス件数	3,244件	4,056件	3,250件以上
学校へのボランティア 派遣件数	23回	37回	25回以上
図書館を利用する市民 の割合	11.70%	13.0%	15%以上



学校へのボランティア派遣(昔話出前事業)
(はつかいち市民図書館)



R5子どもと本の講座
(はつかいち市民図書館)



タブレットを使った検索スキルアップ教室
(大野図書館)

4 コミュニティの中核となる図書館

(1) 現状

図書館は、読書をきっかけとした地域のつながりを育てる役割も果たします。例えば、読書会などの行事は、読書体験の共有によって、楽しみながら他の参加者と交流できる機会です。

また、絵本の読み聞かせは、子どもの読書推進の取組であると同時に、保護者に対する子育て支援の側面も持っています。中でも、地域のボランティアによるおはなし会は、高齢者や子育て経験者等の力によって支えられています。おはなし会に参加するのは子どもたち、そして子育てに悩むことも多いと思われる保護者たちです。図書館は、こうした地域の世代間交流が自然にできる場となっています。

乳児の4か月健診と同時に実施されるブックスタート(*)も、読み聞かせによる家族のふれあいを提案するだけでなく、子育て世帯と地域の支援者をつなぐ場として重要なものです。

この他にも、幅広い分野の資料を備えている図書館は、地域のさまざまな活動を支援できる可能性を秘めています。各館がそれぞれ複合施設に配置されている利点を生かして、隣接する文化ホール、美術ギャラリー、市民センターの事業と連携したイベントの開催や資料展示を実施していることもその一例です。

少子高齢化や社会情勢の変化による不安に伴う多くの課題に対応するために、地域の支え合いはより重要になっています。情報と一緒に人々の集う機会も提供できる図書館には、現在の取組を維持するだけにとどまらず、より多角的に地域のコミュニティをつないでいく役割が求められています。

(*)ブックスタート：0歳児検診などの機会に、乳児とその保護者に絵本を手渡し、絵本を介してふれあう楽しいひとときを持つきっかけをつくる活動

(2) 今後の方向性

人と人との集い、交流し、つながりをもてる、コミュニティの中核となる図書館を目指します。市民の意見を反映させるなど、市民とともに作っていく視点も大事にした講座やイベントの開催をはじめとして、「はつかいちアーカイブ」（仮称）の構築など、周辺施設や市役所各部署、企業、団体との連携を図りながら、コミュニティ活動支援の役割を果たせるような事業を実施します。本を通じて活動・交流が始まり、新たな出会いを発見できる図書館を目指します。

(3) 取組の柱

ア ブックスタート事業

乳児の4か月健診に合わせて、絵本をプレゼントし、絵本の読み聞かせによる家族のふれあいを提案します。地域のボランティアに協力していただくことで、子育て中の保護者が地域の支援者との接点をもつ機会も提供します。

イ 絵本サロンの実施

おはなし会の後に、妊婦や子育て中の保護者が互いに交流し、つながりをもてるような場を、子育て支援の部署と連携して用意します。

ウ 読書体験の交流の場づくり

利用者参加型の企画展示や、読書会、ビブリオバトル（知的書評合戦）、参加型ブックトークなどのイベントを実施して、利用者の読書体験の交流の場を作ります。また、図書館の資料を参考にして作った市民の作品発表の場を提供します。

周辺施設や企業、団体と連携して、読書から体験・活動につながるようなイベントを実施します。

エ 出張貸出「一箱図書館」の実施

体験から学びへの橋渡しとなることを目的とし、市民センターや他部署の実施する講座、教室等にコンテナ一箱程度の関連資料を持ち込み、その場で貸出しをする出張貸出しや資料リスト作成を実施し、市民活動のレベルアップを支援します。

オ 図書館ボランティアの発掘

図書館ボランティアの発掘を目的として、希望者に読み聞かせや音訳、配架や本の修理などを体験していただく機会を設けます。

カ はつかいちアーカイブの構築

古い写真や貴重な資料などをデジタル化し、図書館ホームページ上で公開する「はつかいちアーカイブ」の構築に取り組みます。その構築に当たっては、市民のアイデアを募るなど市民とともに作る視点を大事にします。

(4) 取組の状況

ア ブックスタート事業

4か月健診の実施方法が集団検診から小児科医院での個別健診へ変更されたため、ブックスタートを10か月面談時に実施することになりました。実施方法は会場にいる全員へ一斉に読み聞かせをしますが、図書館司書の読み聞かせに合わせて、保護者の手元でも同じ絵本を開いてもらえるようにしたところ、赤ちゃんの嬉しそうな様子に保護者自身も笑顔になっていました。

イ 絵本サロンの実施

佐伯子育て支援センターで行われる子育てサロンに参加した乳幼児に、「赤ちゃんすくすく広場」事業として絵本の読み聞かせを行いました。実施後、一緒に参加した保護者から絵本に関する相談を受けた際には、絵本の読み方についてのアドバイスをしました。また、乳幼児を持つ保護者の交流の場を提供しました。

ウ 読書体験の交流の場づくり

読み聞かせ以外に工作教室や点字体験、わらべうたを歌って遊ぶ行事を開催し、参加者同士が交流する機会をつくりました。リニューアル後の大野図書館では、「えほん、よんで♪」や自分に合った本を探す「まるくる本話会」など本を通して交流する場を提供しました。

エ 出張貸出「一箱図書館」の実施

大人向け講座として市民センターの講座で本の紹介をした際にコンテナ一箱分の関連資料を持ち込み、出張貸出を行いました。

オ 図書館ボランティアの発掘

大野図書館では、子どもボランティアが小さい子ども向けのおはなし会で読み聞かせを行いました。一年間を通じて活動し、活躍できる場を経験した子どもたちは達成感を感じていました。

カ はつかいちアーカイブの構築

次期図書館システム更新時に向けデジタルアーカイブの構築に関する調査をすすめます。

(5) 成果指標・活動指標

指 標	実績値 (平成30年度)	現状 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
イベントや講座の参加者数 (おはなし会を含む)	延べ10,014人	延べ11,264人	10,100人以上



R5 ハロウィンのおはなし会
(はつかいち市民図書館)



わらべうた de あそび
(さいき図書館)



パパのおはなし会
(さいき図書館)

5 多様な情報へのアクセスが整備されている図書館

(1) 現状

図書館が備えている様々な資料や情報は市民に利用されることによって価値を発揮します。市民が求めている情報により素早く、よりの確にたどり着くためのアクセス環境を整えることも、図書館の果たすべき使命といえます。そして、多くの情報があふれる現代社会において、アクセス環境の整備には、情報機器や電子資料の活用が欠かせなくなってきました。

従来どおりの図書館資料の提供に当たっても、資料の検索や予約、貸出し・返却などの手続をよりスムーズにするためのシステム改善が必要です。現在は図書館ホームページを通じて館外から蔵書検索や予約ができるシステムを提供していますが、来館者の予約やリクエストなどはまだ手書きの申込書で受付しているなどアナログ対応のみの手続も多く、さらなる利便性の向上が求められています。

また、デジタル情報へのアクセスということでは、利用者閲覧用のインターネット端末は各館にあります。持込みパソコンへの電源提供やフリーWi-Fiなど、より開かれたアクセス環境の構築は実現できていません。電子書籍や商用データベースの導入も今後の課題となっています。

(2) 今後の方向性

アナログとデジタルが程よくミックスされ、多様な情報へのアクセスが整備されている図書館を目指します。

情報のデジタル化に対応した資料の収集と提供に努めると同時に、業務の自動化や貸出し・返却ポイントの増加によって資料をより利用しやすい環境を作ります。

(3) 取組の柱

ア 図書館システムの更新

インターネットや館内OPAC（蔵書検索機）を利用した蔵書検索や予約システムの充実と利用者向けの講習会を開催します。

利用者自身が利用状況を確認できる機能を導入します。

イ デジタル情報へのアクセス環境の整備

館内へのフリーWi-Fiと電源提供席の設置、タブレット貸出しを導入します。

インターネット端末のフィルターの緩和をします。

商用データベースやデジタル書籍の導入とデジタル情報の利用講座の開催をします。

ウ 紙媒体の確定情報の提供や適切な情報を選び出すための支援

より確かな情報へつなげるために、情報選択の支援や関係窓口への案内などを含んだレファレンスの充実とその周知を図ります。

エ 返却ポイント、貸出しポイントの増設

市民センターの協力も仰ぎながら、予約本の受け取りや資料の返却が図書館以外の場所でもできるような環境整備を進めます。

オ 業務の自動化

予約システム利用のためのパスワード自動付与機能の導入、BDS（本の持ち出しを監視するシステム）とICタグによる自動貸出機・返却機の設置、予約確保や督促連絡の自動化などで業務の効率化を図り、職員がより専門的なレファレンス業務に注力できる環境整備を進めます。

（４）取組の状況

ア 図書館システムの更新

図書館ホームページから資料を予約する手順について初心者向け講座を開催しました。図書館システムの便利な使い方をまとめたパンフレットを配布したり、図書館だよりへ検索ワードの選び方などを伝えるミニ知識を紹介するコラムも連載しています。

イ デジタル情報へのアクセス環境の整備

大野図書館は、全館にフリーwi-fiを整備しました。また、PC・ビジネスコーナー及びスタディコーナーについて利用者に電源を提供できる席としました。

大野図書館が導入した中国新聞データベースの使い方や活用方法の講座を開催しました。

ウ 紙媒体の確定情報の提供や適切な情報を選び出すための支援

レファレンスを依頼した利用者の求める蔵書がない場合、広島県立図書館や国立国会図書館が所蔵する資料等も調査することによりニーズに対応し、課題解決ができるようにしています。

エ 返却ポイント、貸出しポイントの増設

資料の返却受付が全ての市民センターで開始しました。年々利用件数は増えて
います。さらに今後も周知を続けます。

オ 業務の自動化

大野図書館が所蔵する資料にICタグを貼付し、貸出手続きをしていない資料を
施設外へ持ち出した際にアラームで知らせる機能をつけました。これにより「施設
全体がどこでも図書館」となるコンセプトを実現できました。

また、大野図書館のリニューアルオープン時に、セルフ貸出機を1台設置しまし
た。

業務の効率化を図るため、予約の申し込みをした資料の連絡方法を電話希望
から連絡不要またはメール連絡へシフトできるよう周知に努めています。

(5) 成果指標・活動指標

指 標	実績値 (平成30年度)	現状 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)
貸出冊数(個人+団 体)	683,932冊	675,417冊	700,000冊以上
人口一人当たりの個 人貸出数	5.5冊	5.6冊	6.0冊以上
予約資料が受け取れ る市民センターの数	1館	8館	7館以上
資料を返却できる市 民センター等の数	1館	全館	全館

第5章 推進体制

1 基本計画推進のための役割分担と環境整備

市内3館それぞれの特長を生かした役割分担を明確にし、周辺施設等との連携も含めた総合力で、本計画に示す目指す姿を実現していきます。現在の各館それぞれの強みを活かしながらトータルとして目標に近づけるよう取組を進めます。

(1) 3館の役割分担

ア はつかいち市民図書館

はつかいち市民図書館は、行政機関や文化施設、商業施設が集積したシビックコア地域に位置し、交通アクセス等の利便性も優れている立地です。反面、複合施設の一角を占めていることから、図書館の専有面積は限られているため、滞在できるスペースは最小限に抑えられています。はつかいち市民図書館では、情報や資料の提供を中心として、滞在型利用のニーズについては周辺施設の活用で補完するサービス展開あるいはシビックコア地区内での公共施設再編において多様なニーズに対応できるスペースの確保等を検討する必要があります。

本館として、全体統括を図り、システムの一括管理、県立図書館や学校等との連絡調整、比較的専門的な資料整備や永年保存資料の保管などの役割を果たします。

また、市役所の各部署と連携しやすい地の利を生かして、行政支援を充実させ、行政と市民との橋渡し役を担います。

イ 大野図書館

大野図書館のある筏津地区では、公共施設再編事業を終え、令和5年3月から図書館に子育てリビング、市民センター、体育館の機能を加えた複合施設での運営を行っています。図書館は滞在型利用のニーズが高まっていることから、あらゆる世代や多様なニーズを抱えた利用者が心地よく滞在でき、子どもや子育てに優しい図書館を目指す必要があります。

また、市内5地域へのアクセスがしやすい地の利を生かし、移動図書館車の基地機能も継続します。

ウ さいき図書館

中山間地域振興の一翼を担う図書館として、佐伯地域、吉和地域の読書推進活動を充実させます。また、駐車場内に中山間地域の交通結節点が整備されたため、新たな人の流れに即したサービスを提供します。

(2) 計画推進のための環境整備

ア 移動図書館車と遠隔地サービスの拡充

市内全域への公平なサービス実現のため、図書館から離れた地域への巡回を継続・発展させます。保育園への巡回を継続・発展させ、子育て支援に取り組みます。

あわせて、市民センターや小・中学校などの協力を仰ぎながら、返却ポイント、貸出しポイント増設のための環境整備を進めます。

イ 市内3館の連携体制の強化

市内3館のそれぞれの強みを生かし、一体となって図書館サービスの向上と、連携できる体制の維持発展を目指します。各館をネットワークでつなぎ、一体的なシステム運営を行い、基礎的なサービスは均一に提供し、不断にこれを見直すことで業務の効率化を図ります。図書館から離れた地域へも公平な図書館サービスを提供するよう、市民センター等との連携を強化します。

また、館長や担当者の会議を定期的で開催し、人事交流を図るなど、3館が同じように成長できる体制を整えます。

資料の発注段階で3館が密に情報交換を図ることにより、幅広い資料をそろえられるようにすると同時に、所蔵している資料については、より利用の見込める館への資料の使用替えなどを実施し、資料の有効活用を図ります。

ウ 利用者ニーズに基づく図書館運営

はつかいち市民図書館協議会を設置し、有識者の意見を尊重するとともに、図書館ボランティアや市民のニーズを的確に把握し、時代や地域の要請に即して、図書館を運営します。

また、協働する団体、ボランティア、市役所の各部署と協力し、利用者、地域とともに図書館を運営します。

エ 民間活力導入の検討

公立図書館としてのあるべき姿を見失わない、バランスの取れた運営に

なるよう、図書館本来の役割を尊重しながら、コストパフォーマンスの最大化と最適化を図ります。

(市の役割)

- ・図書館基本方針・基本計画の策定
- ・図書館協議会の運営

(図書館本来の役割)

- ・選書、発注、受入れ、除籍などの資料の収集保管と蔵書管理
- ・レファレンス
- ・読書活動推進事業
- ・障がい者サービスの実施
- ・県立図書館、他の公共図書館、学校、市役所各部署との連携

(自動化に期待する業務)

- ・貸出し・返却・蔵書点検業務
- ・督促、予約確保の連絡業務
- ・予約受付業務

(民間活力に期待するもの)

- ・施設管理と環境整備
- ・システム管理
- ・移動図書館車、配送車の運転業務
- ・読書活動推進事業以外の講座やイベントの企画運営
- ・資料のデジタル化対応
- ・くつろぎスペース、飲食スペースの管理、運営

大野図書館については、令和5年3月から筏津地区公共施設再編事業を終え、図書館を含む複合施設を一体的に設計・建設・運営する民間事業者に管理を任せる運営となりました。

2 計画の推進、点検、評価

図書館では、本計画の具体化に向けて、職員体制の充実を図るとともに、市役所の各部署を始め、ボランティア団体や、関係機関、他図書館などと連携しながら計画を推進します。

また、はつかいち市民図書館協議会において、計画の進捗状況や目標の設定、実現方法などについて意見を聞き、PDCAサイクルに沿って取組を進めていきます。利用者アンケートの結果から最新のニーズを把握し、可能なものから具現化に向けて取り組んで参ります。

今後は、図書館協議会での点検・評価結果を図書館ホームページ等で公表します。



はつかいち市民図書館協議会

参考

1 廿日市市図書館の設置目的と方針

(1) 図書館設置の目的

廿日市市の図書館は、市民の知る自由を保障する生涯学習機関です。

廿日市市の図書館は、資料及び情報を収集し、整理し、保存して、市民等に提供します。

廿日市市の図書館は、市民の教養、教育と文化の発展に寄与します。

(2) 運営方針

廿日市市の図書館は、市民の生涯にわたる学習と廿日市市の文化発展に寄与するため、利用者が求める多様な資料や情報を提供します。そして、あらゆる世代の生涯学習や課題解決を積極的に支援します。市民の日常生活に生きがいと豊かさをもたらす「市民に役立つ図書館」を目指し、次のような方針に基づき運営を行います。

ア 地域に根ざした図書館

市民の暮らしに役立つ資料、暮らしを豊かにする資料を収集し、提供します。

廿日市市の歴史・文化を伝えるため、郷土資料を収集・保存し、提供します。

イ 広く開かれた図書館

情報のセーフティーネットの一翼を担えるよう、乳幼児から高齢者まで年齢を問わず、すべての市民にとって、利用しやすく、親しみやすい環境を整えます。また、障がい等で図書館を利用しづらい事情のある方も安心して利用できる場とサービスの提供に努めます。

ウ 子どものための図書館

未来に生きる子どもたちに豊かな読書環境を提供します。

子どもの読書活動を推進し、未来の良き読書人、考える市民を育てます。

自ら情報を得て、自ら判断できる能力（リテラシー）を身につけられる読書環境を整えます。

エ 住民参加の図書館

はつかいち市民図書館協議会の活用や市民との対話を通して市民のニーズを的確に把握し、図書館サービスを充実させます。

また、ボランティアと協力して、市域全体の読書推進活動を支援します。

オ まちづくりに貢献する図書館

市役所の各部署や関係機関・団体と積極的に連携し、地域の課題解決に必要な資料や情報を提供します。

「協働のまち・はつかいち」を支援するための資料や情報を収集し、提供します。

カ 複合施設を生かす図書館

市内3館それぞれの立地を最大限に生かし、文化ホール等、他施設と連携したイベントを提供します。

(3) 人材育成方針

廿日市市の図書館が、地域に根ざし広く開かれた図書館として図書館サービスを提供していくためには、次のような図書館職員の能力が強く求められます。職場の実務を通じて行う職員の教育訓練や職場外研修による継続的な研修を実施するとともに、県立図書館研修への参加などをすすめ、長期的な視野に立った組織的な人材育成に努めます。

ア 専門的能力（選書、レファレンス、読み聞かせ、著作権への理解等）

イ 保育園・学校図書館支援、他機関との連携、市の方針の理解、市民との協働等を円滑に実施するための能力（調整、折衝、企画立案等の能力）

ウ 高度な情報リテラシー（情報検索・活用能力）

エ 情報通信技術に対応する能力

オ ハンディキャップ支援に関する知識理解と実践能力

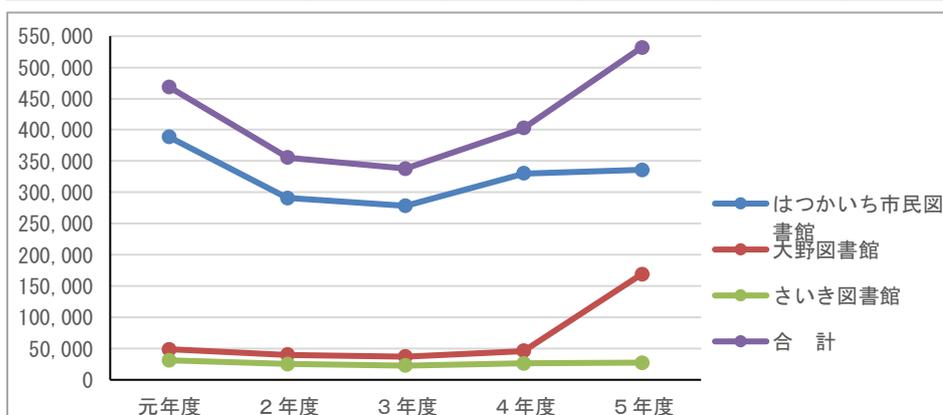
2 サービスの現状

過去5年間の推移は次のとおりです。

【来館者数】

(人)

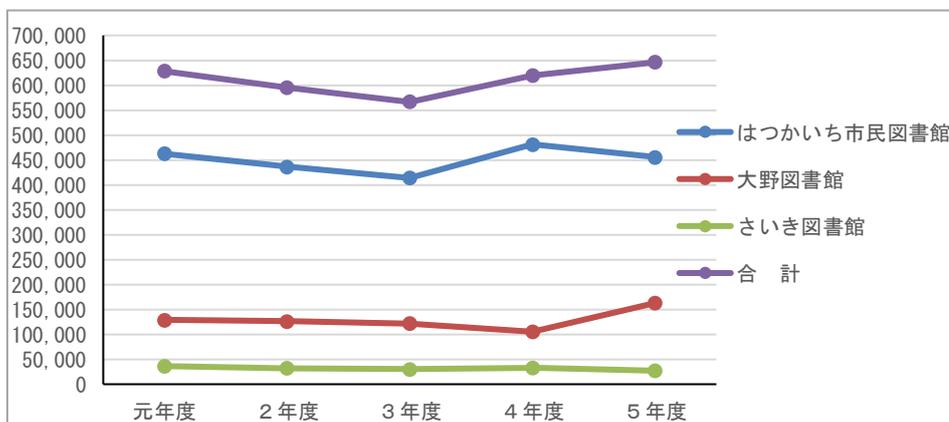
館名	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
はつかいち市民図書館	388,436	291,009	278,400	330,399	335,721
大野図書館	48,839	39,951	37,027	46,070	169,301
さいき図書館	31,215	25,039	22,684	26,361	27,224
合 計	468,490	355,999	338,111	402,830	532,246



【個人貸出点数】

(冊)

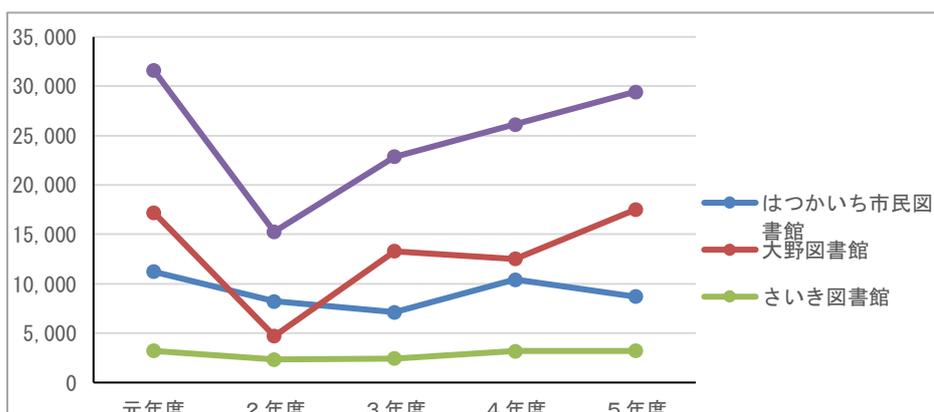
館名	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
はつかいち市民図書館	462,975	436,691	413,855	481,426	455,975
大野図書館	128,723	126,407	122,102	105,306	162,871
さいき図書館	36,333	32,220	30,416	32,819	27,155
合 計	628,031	595,318	566,373	619,551	646,001



【団体貸出点数】

(冊)

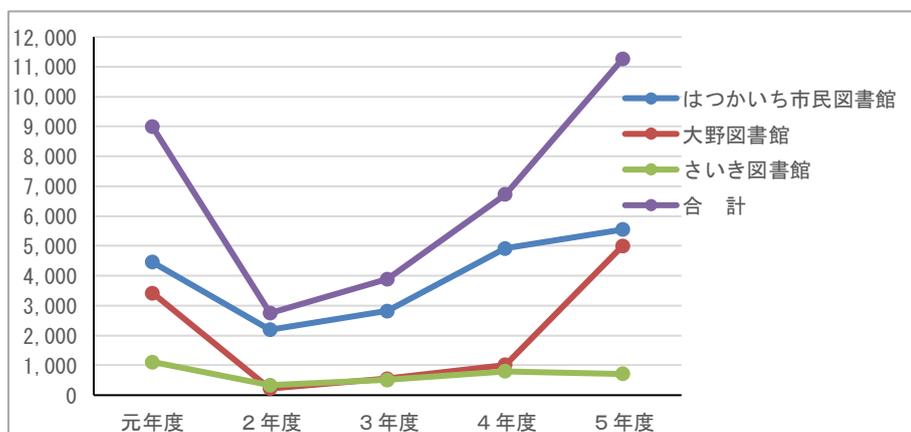
館名	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
はつかいち市民図書館	11,219	8,236	7,128	10,414	8,705
大野図書館	17,198	4,707	13,302	12,534	17,512
さいき図書館	3,204	2,340	2,426	3,173	3,199
合 計	31,621	15,283	22,856	26,121	29,416



【講座やイベントの参加者数】 (おはなし会を含む)

(人)

館名	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
はつかいち市民図書館	4,455	2,192	2,824	4,914	5,548
大野図書館	3,423	222	555	1,010	5,004
さいき図書館	1,114	336	515	805	712
合 計	8,992	2,750	3,894	6,729	11,264



【備品購入費予算額】（図書+視聴覚資料）（千円）

館名	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
はつかいち市民図書館	9,890	10,245	9,890	9,890	9,965
大野図書館	6,508	6,812	6,508	5,968	6,020
さいき図書館	2,518	2,648	2,518	2,518	2,514
合 計	18,916	19,705	18,916	18,376	18,499

【図書受入冊数】（冊）

館名	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
はつかいち市民図書館	6,287	5,897	6,664	6,377	6,092
大野図書館	3,607	3,528	3,483	2,950	3,786
さいき図書館	1,402	1,469	1,389	1,340	1,427
合 計	11,296	10,894	11,536	10,667	11,305

【図書購入冊数】（冊）

館名	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
はつかいち市民図書館	5,008	4,565	4,934	4,869	4,447
大野図書館	3,217	3,173	3,178	2,727	3,298
さいき図書館	1,157	1,154	1,167	1,132	1,199
合 計	9,382	8,892	9,279	8,728	8,944

【開架冊数】（冊）

館名	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
はつかいち市民図書館	125,668	126,736	128,616	126,335	124,799
大野図書館	83,699	87,779	83,205	73,383	77,188
さいき図書館	36,372	36,616	36,580	36,960	36,729
合 計	245,739	251,131	248,401	236,678	238,716

※ 大野開架に移動図書館車、大野西市民センター含む。ただし令和4年度以降は大野西市民センターを含まず。

【蔵書新鮮度】（受入冊数/開架冊数）

館名	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
はつかいち市民図書館	5.0%	4.7%	5.2%	5.0%	4.9%
大野図書館	4.3%	4.0%	4.2%	4.0%	4.9%
さいき図書館	5.6%	4.0%	3.8%	3.6%	3.9%
合計	4.6%	4.3%	4.6%	4.5%	4.7%

【蔵書新鮮度】（購入冊数/開架冊数）

館名	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
はつかいち市民図書館	4.0%	3.6%	3.8%	3.9%	3.6%
大野図書館	3.8%	3.6%	3.8%	3.7%	4.3%
さいき図書館	3.2%	3.2%	3.2%	3.1%	3.3%
合計	3.8%	3.5%	3.7%	3.7%	3.7%

【開館日数】

館名	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
はつかいち市民図書館	336日	312日	326日	336日	342日
大野図書館	285日	264日	264日	※292日	337日
さいき図書館	289日	268日	281日	291日	294日

※ 令和4年度の大野図書館の開館日数に臨時窓口設置日の61日を含む。

- ・来館者、貸出点数（個人・団体）ともに令和2年3月から令和2年度にかけて新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館や予約資料の貸出しのみとした時期があり、激減した時期もありましたが、令和4年度からは増加傾向にあります。
- ・講座やイベントの参加者数は、令和4年度からは感染症対策をした上でイベントを開催した結果、徐々に参加者が増えています。
- ・大野図書館は、施設のリニューアルのため、令和4年12月から令和5年2月まで休館し、臨時窓口において予約資料の貸出し及び返却受付のみ行いました。なお、移動図書館車は通常どおり巡回しました。
- ・開架冊数は、収容限度にほぼ達しており、情報の古く提供に値しないものや利用状況が低く今後も借りられる見込みがないものを除籍した結果微減となり、これに伴い全体の蔵書新鮮率は横ばいとなっています。

○ 資料編（本計画の改定に向けた意識調査の概要）

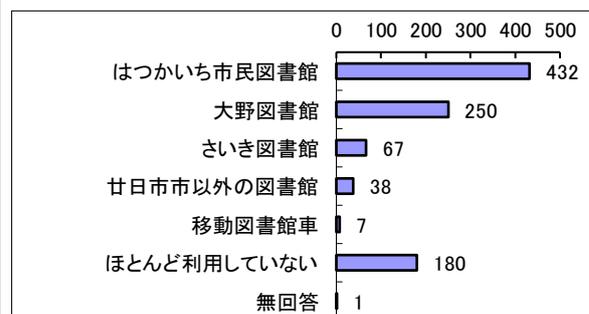
（1）令和5年度はつかいち市民図書館利用に関するアンケートの概要

調査対象	図書館利用者及び未利用者
実施方法	アンケート用紙の配布及び回収箱による受付 廿日市市ホームページ上にアンケートフォームを設置
実施期間	令和5年9月1日（金）～9月30日（土）
有効回答件数	810件（うち 用紙回答291件、WEB回答519件）

集計結果から自由記述回答を省略して抜粋 単位は回答件数

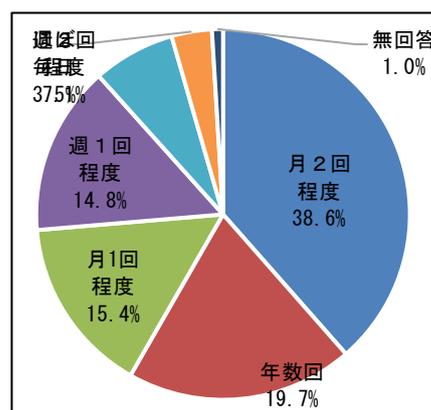
ア よく利用する図書館（全員対象・2館まで選択可）

	選択肢	回答数
1.	はつかいち市民図書館	432
2.	大野図書館	250
3.	さいき図書館	67
4.	移動図書館車	7
5.	廿日市市以外の図書館	38
6.	ほとんど利用していない	180
	無回答	1
	計	975



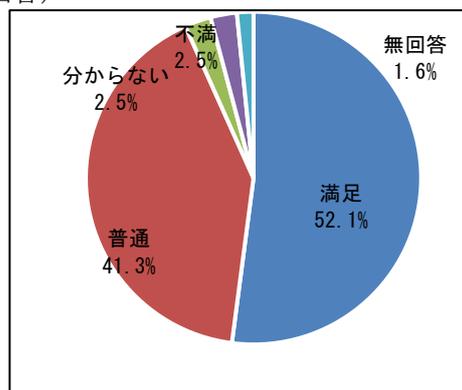
イ 利用頻度（利用者のみ対象・単一回答）

	選択肢	回答数	割合
1.	ほぼ毎日	22	3.5%
2.	週2回程度	45	7.1%
3.	週1回程度	93	14.8%
4.	月2回程度	243	38.6%
5.	月1回程度	97	15.4%
6.	年数回	124	19.7%
	無回答	6	1.0%
	計	630	100.0%



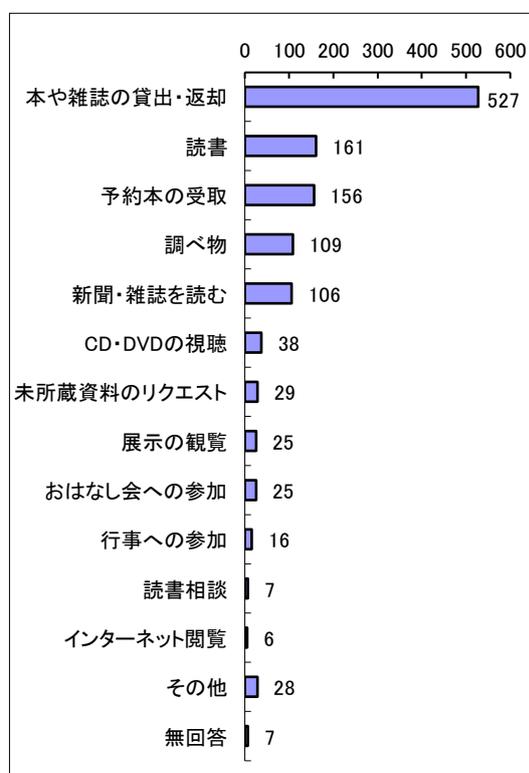
ウ 職員対応の満足度 (利用者のみ対象・単一回答)

	選択肢	回答数	割合
1.	満足	328	52.1%
2.	普通	260	41.3%
3.	不満	16	2.5%
4.	分からない	16	2.5%
	無回答	10	1.6%
	計	630	100.0%



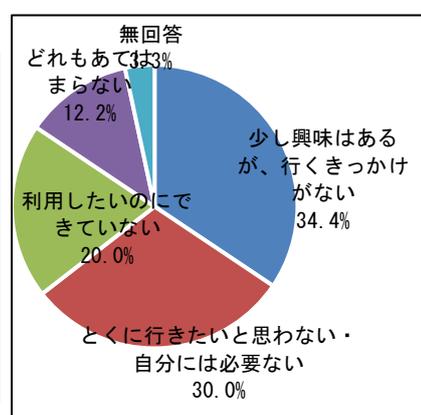
エ 図書館の利用目的 (利用者のみ対象・3点まで選択可)

	選択肢	回答数
1.	本や雑誌の貸出・返却	527
2.	読書	161
3.	新聞・雑誌を読む	106
4.	CD・DVDの視聴	38
5.	調べ物	109
6.	読書相談	7
7.	展示の観覧	25
8.	インターネット閲覧	6
9.	おはなし会への参加	25
10.	行事への参加	16
11.	予約本の受取	156
12.	未所蔵資料のリクエスト	29
13.	その他	28
	無回答	7
	計	1240



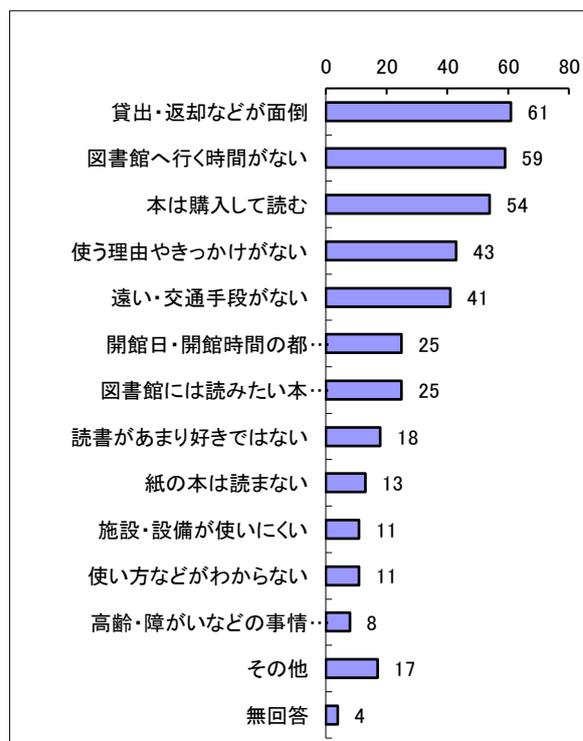
オ 未利用者の意識 (未利用者のみ対象・単一回答)

	選択肢	回答数	割合
1.	利用したいのにできていない	36	20.0%
2.	とくに行きたいと思わない・自分には必要ない	54	30.0%
3.	少し興味はあるが、行くきっかけがない	62	34.4%
4.	どれもあてはまらない	22	12.2%
	無回答	6	3.3%
	計	180	100.0%



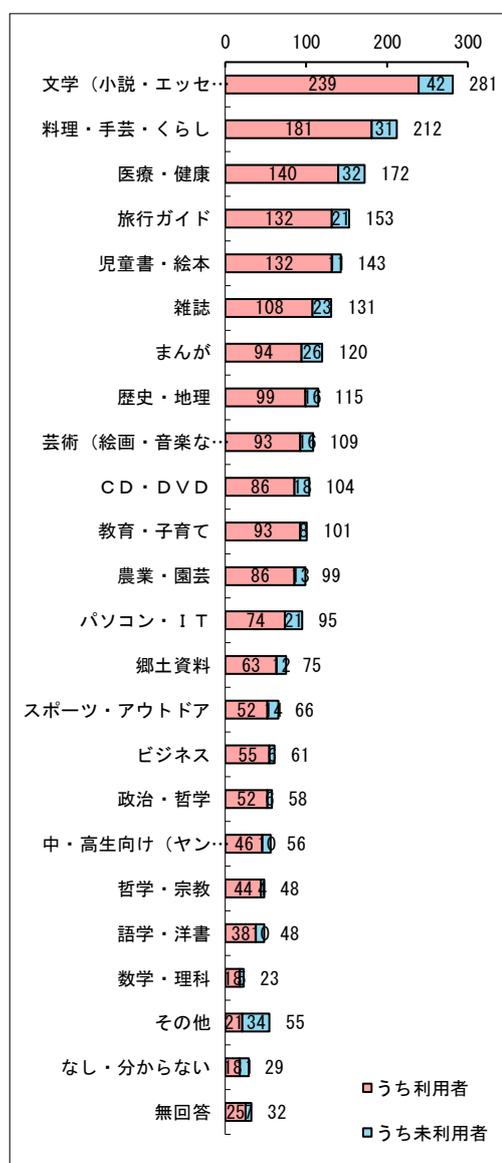
カ 未利用の理由（未利用者のみ対象・複数選択可）

	選択肢	回答数
1.	遠い・交通手段がない	41
2.	開館日・開館時間の都合が合わない	25
3.	高齢・障がいなどの事情で利用しにくい	8
4.	図書館へ行く時間がない	59
5.	読書があまり好きではない	18
6.	図書館には読みたい本がない	25
7.	本は購入して読む	54
8.	紙の本は読まない	13
9.	貸出・返却などが面倒	61
10.	施設・設備が使いにくい	11
11.	使う理由やきっかけがない	43
12.	使い方などがわからない	11
13.	その他	17
	無回答	4
	計	390



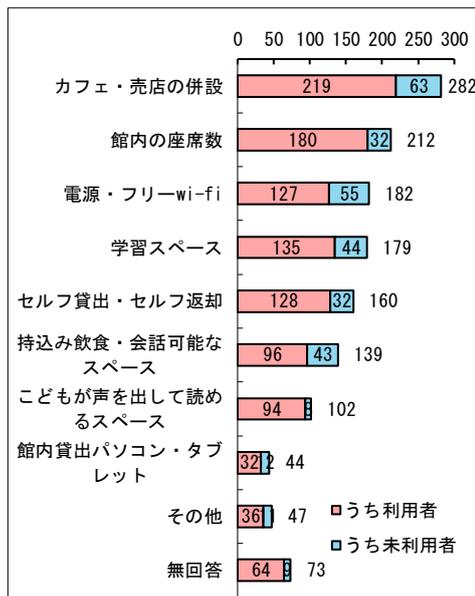
キ 充実を希望する資料（全員対象・5点まで選択可）

	選択肢	利用者	未利用者	合計
1.	パソコン・IT	74	21	95
2.	哲学・宗教	44	4	48
3.	歴史・地理	99	16	115
4.	旅行ガイド	132	21	153
5.	政治・哲学	52	6	58
6.	ビジネス	55	6	61
7.	医療・健康	140	32	172
8.	数学・理科	18	5	23
9.	教育・子育て	93	8	101
10.	料理・手芸・暮らし	181	31	212
11.	農業・園芸	86	13	99
12.	芸術（絵画・音楽など）	93	16	109
13.	スポーツ・アウトドア	52	14	66
14.	語学・洋書	38	10	48
15.	文学（小説・エッセイなど）	239	42	281
16.	郷土資料	63	12	75
17.	児童書・絵本	132	11	143
18.	中・高生向け（ヤング）	46	10	56
19.	まんが	94	26	120
20.	CD・DVD	86	18	104
21.	雑誌	108	23	131
22.	その他	21	34	55
23.	なし・分からない	18	11	29
	無回答	25	7	32
	計	1989	397	2386



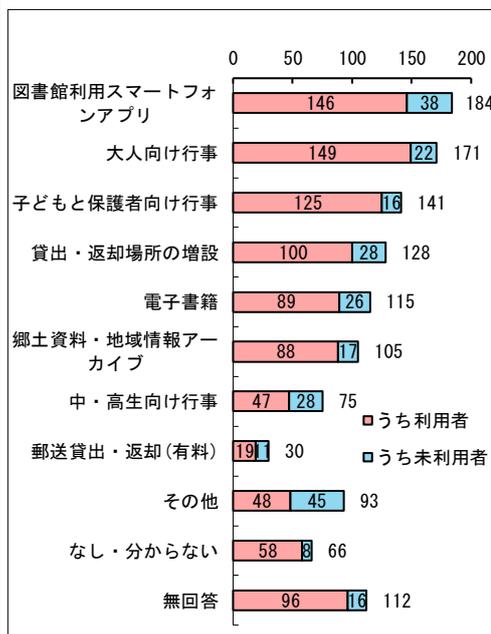
ク 充実を希望する機器・設備 (全員対象・3点まで選択可)

	選択肢	利用者	未利用者	合計
1.	館内の座席数	180	32	212
2.	学習スペース	135	44	179
3.	子どもが声を出して読めるスペース	94	8	102
4.	電源・フリーwi-fi	127	55	182
5.	カフェ・売店の併設	219	63	282
6.	持込み飲食・会話可能なスペース	96	43	139
7.	セルフ貸出・セルフ返却	128	32	160
8.	館内貸出パソコン・タブレット	32	12	44
9.	その他	36	11	47
	無回答	64	9	73
	計	1111	309	1420



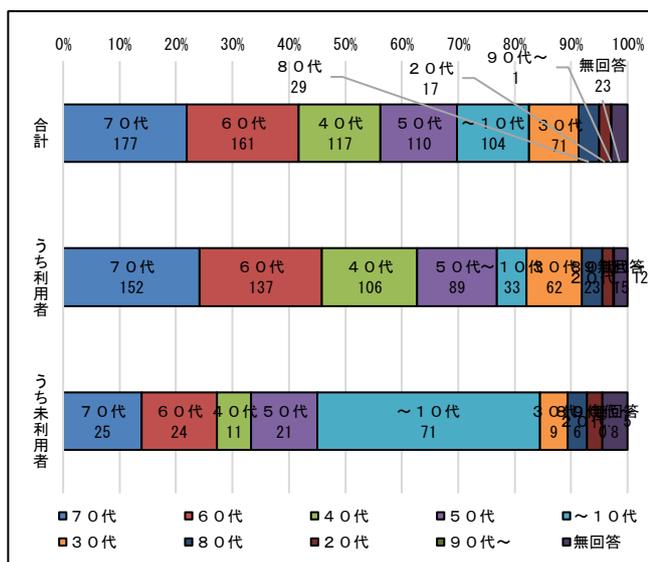
ケ 充実を希望する行事・サービス (全員対象・3点まで選択可)

	選択肢	利用者	未利用者	合計
1.	子どもと保護者向け行事	125	16	141
2.	大人向け行事	149	22	171
3.	中・高生向け行事	47	28	75
4.	郷土資料・地域情報アーカイブ	88	17	105
5.	図書館利用スマートフォンアプリ	146	38	184
6.	電子書籍	89	26	115
7.	貸出・返却場所の増設	100	28	128
8.	郵送貸出・返却(有料)	19	11	30
9.	その他	48	45	93
10.	なし・分からない	58	8	66
	無回答	96	16	112
	計	965	255	1220



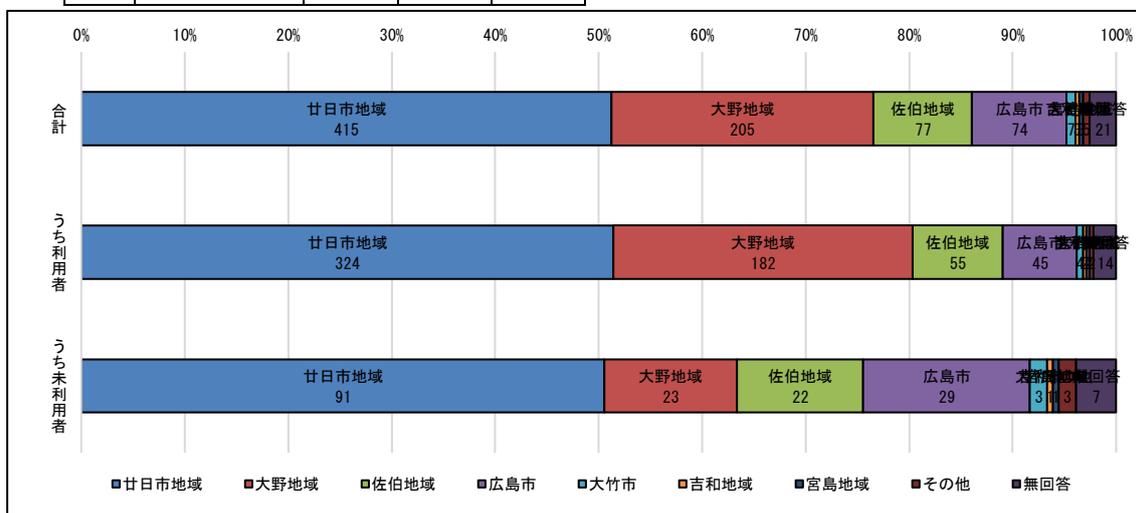
コ 回答者の年齢（全員対象・単一回答）

	選択肢	利用者	未利用者	合計
1.	～10代	33	71	104
2.	20代	12	5	17
3.	30代	62	9	71
4.	40代	106	11	117
5.	50代	89	21	110
6.	60代	137	24	161
7.	70代	152	25	177
8.	80代	23	6	29
9.	90代～	1	0	1
	無回答	15	8	23
	計	630	180	810



サ 回答者の居住地（全員対象・単一回答）

	選択肢	利用者	未利用者	合計
1.	廿日市地域	324	91	415
2.	佐伯地域	55	22	77
3.	吉和地域	2	1	3
4.	大野地域	182	23	205
5.	宮島地域	2	1	3
6.	広島市	45	29	74
7.	大竹市	4	3	7
8.	その他	2	3	5
	無回答	14	7	21
	計	630	180	810



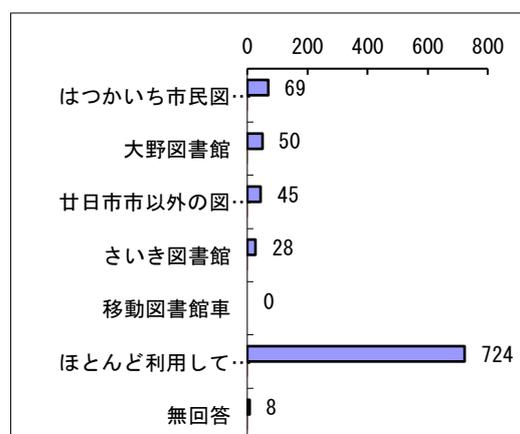
(2) 令和5年度はつかいち市民図書館利用に関する高校生アンケートの概要

調査対象	高校1～2年生
実施方法	学校経由でアンケート用紙を配布・回収
実施期間	令和5年9月1日(金)～9月30日(土)
有効回答件数	905件

集計結果から自由記述回答を省略して主要部分を抜粋 単位は回答件数

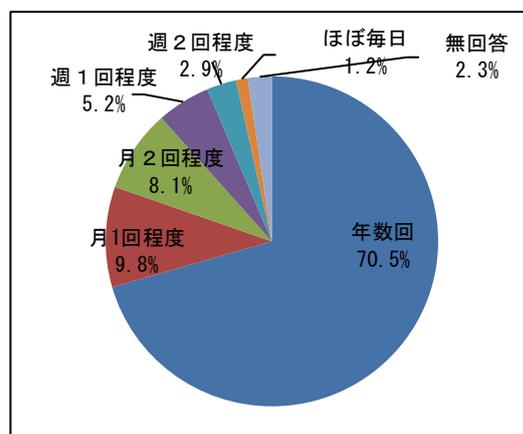
ア よく利用する図書館 (全員対象・2館まで選択可)

	選択肢	回答数
1.	はつかいち市民図書館	69
2.	大野図書館	50
3.	さいき図書館	28
4.	移動図書館車	0
5.	廿日市市以外の図書館	45
6.	ほとんど利用していない	724
	無回答	8
	計	924



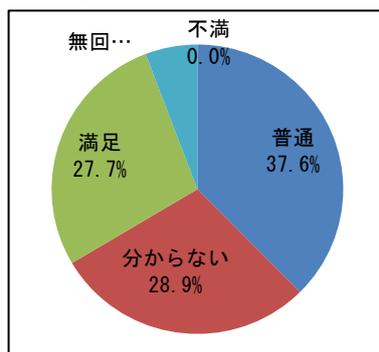
イ 利用頻度 (利用者のみ対象・単一回答)

	選択肢	回答数	割合
1.	ほぼ毎日	2	1.2%
2.	週2回程度	5	2.9%
3.	週1回程度	9	5.2%
4.	月2回程度	14	8.1%
5.	月1回程度	17	9.8%
6.	年数回	122	70.5%
	無回答	4	2.3%
	計	173	100.0%



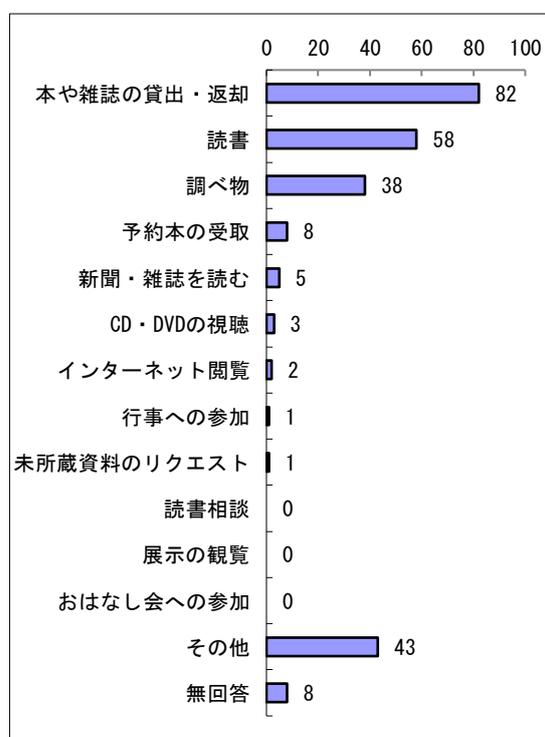
ウ 職員対応の満足度 (利用者のみ対象・単一回答)

	選択肢	回答数	割合
1.	満足	48	27.7%
2.	普通	65	37.6%
3.	不満	0	0.0%
4.	分からない	50	28.9%
	無回答	10	5.8%
	計	173	100.0%



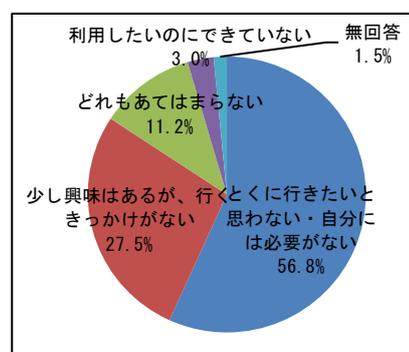
エ 図書館の利用目的 (利用者のみ対象・3点まで選択可)

	選択肢	回答数
1.	本や雑誌の貸出・返却	82
2.	読書	58
3.	新聞・雑誌を読む	5
4.	CD・DVDの視聴	3
5.	調べ物	38
6.	読書相談	0
7.	展示の観覧	0
8.	インターネット閲覧	2
9.	おはなし会への参加	0
10.	行事への参加	1
11.	予約本の受取	8
12.	未所蔵資料のリクエスト	1
13.	その他	43
	無回答	8
	計	249



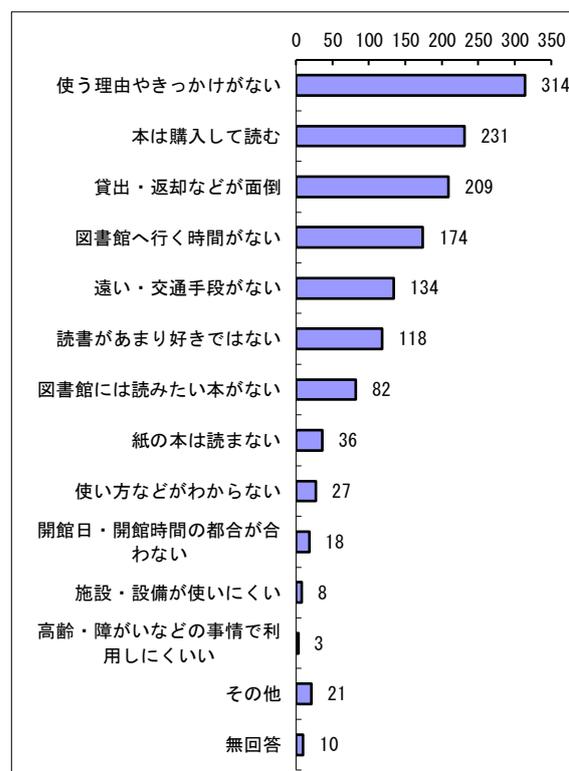
オ 未利用者の意識 (未利用者のみ対象・単一回答)

	選択肢	回答数	割合
1.	利用したいのにできていない	22	3.0%
2.	とくに行きたいと思わない・自分には必要ない	411	56.8%
3.	少し興味はあるが、行くきっかけがない	199	27.5%
4.	どれもあてはまらない	81	11.2%
	無回答	11	1.5%
	計	724	100.0%



カ 未利用の理由（未利用者のみ対象・複数選択可）

	選択肢	回答数
1.	遠い・交通手段がない	134
2.	開館日・開館時間の都合が合わない	18
3.	高齢・障がいなどの事情で利用しにくい	3
4.	図書館へ行く時間がない	174
5.	読書があまり好きではない	118
6.	図書館には読みたい本がない	82
7.	本は購入して読む	231
8.	紙の本は読まない	36
9.	貸出・返却などが面倒	209
10.	施設・設備が使いにくい	8
11.	使う理由やきっかけがない	314
12.	使い方などがわからない	27
13.	その他	21
	無回答	10
	計	1385



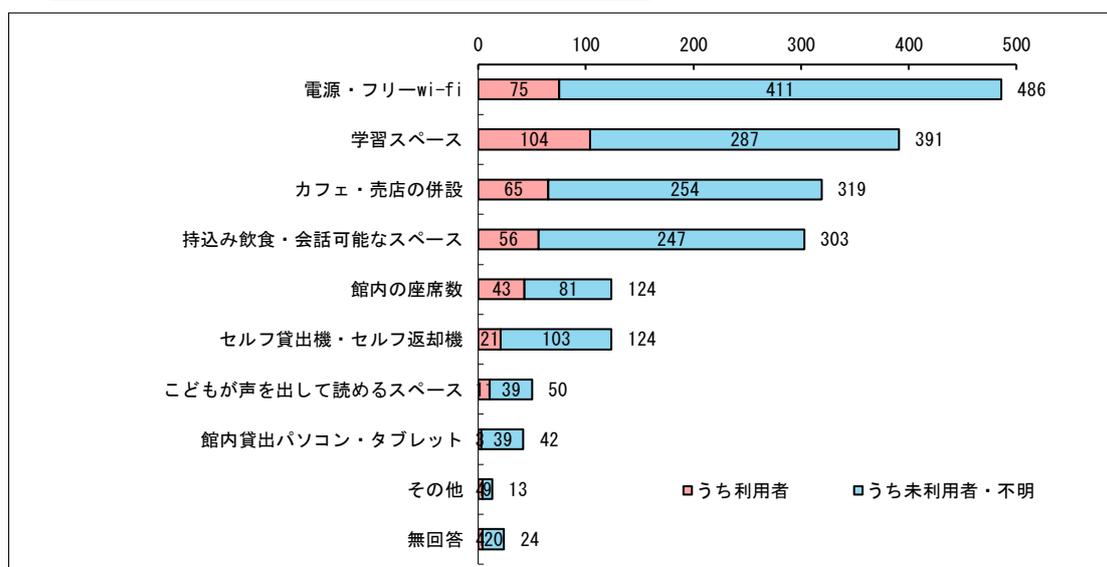
キ 充実を希望する資料（全員対象・5点まで選択可）

	選択肢	利用者	未利用者	合計
1.	パソコン・IT	26	129	155
2.	哲学・宗教	13	31	44
3.	歴史・地理	21	46	67
4.	旅行ガイド	8	36	44
5.	政治・哲学	5	37	42
6.	ビジネス	8	14	22
7.	医療・健康	10	35	45
8.	数学・理科	10	33	43
9.	教育・子育て	12	14	26
10.	料理・手芸・暮らし	12	45	57
11.	農業・園芸	3	9	12
12.	芸術（絵画・音楽など）	26	63	89
13.	スポーツ・アウトドア	14	94	108
14.	語学・洋書	16	18	34
15.	文学（小説・エッセイなど）	65	164	229
16.	郷土資料	3	8	11
17.	児童書・絵本	7	10	17
18.	中・高生向け（ヤング）	43	121	164
19.	まんが	61	266	327
20.	CD・DVD	11	57	68
21.	雑誌	12	48	60
22.	その他	2	7	9
23.	なし・分からない	19	154	173
	無回答	5	17	22
	計	412	1456	1868



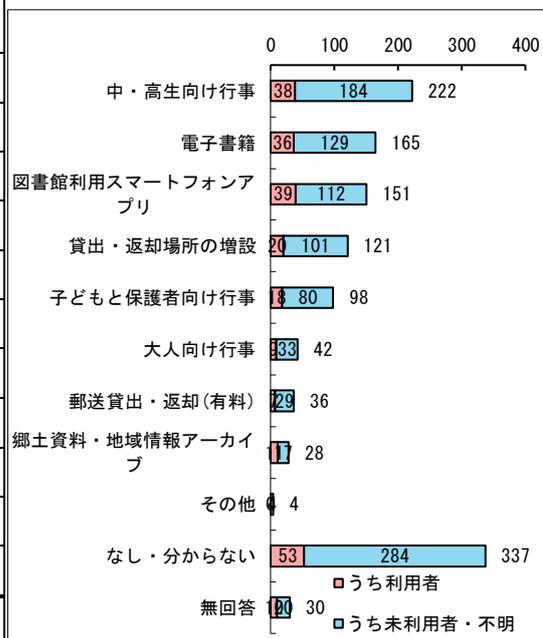
ク 充実を希望する機器・設備（全員対象・3点まで選択可）

	選択肢	利用者	未利用者	合計
1.	館内の座席数	43	81	124
2.	学習スペース	104	287	391
3.	子どもが声を出して読めるスペース	11	39	50
4.	電源・フリーwi-fi	75	411	486
5.	カフェ・売店の併設	65	254	319
6.	持込み飲食・会話可能なスペース	56	247	303
7.	セルフ貸出・セルフ返却	21	103	124
8.	館内貸出パソコン・タブレット	3	39	42
9.	その他	4	9	13
	無回答	4	20	24
	計	386	1490	1876



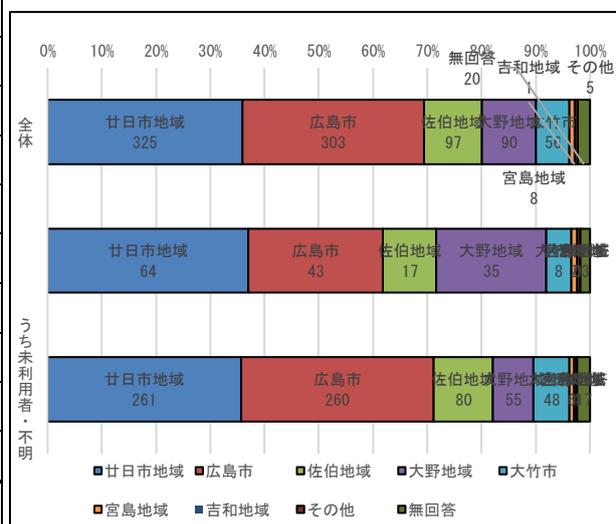
ケ 充実を希望する行事・サービス（全員対象・3点まで選択可）

	選択肢	利用者	未利用者	合計
1.	子どもと保護者向け行事	80	18	98
2.	大人向け行事	33	9	42
3.	中・高生向け行事	184	38	222
4.	郷土資料・地域情報アーカイブ	17	11	28
5.	図書館利用スマートフォンアプリ	112	39	151
6.	電子書籍	129	36	165
7.	貸出・返却場所の増設	101	20	121
8.	郵送貸出・返却(有料)	29	7	36
9.	その他	4	0	4
10.	なし・分からない	284	53	337
	無回答	20	10	30
	計	993	241	1234



コ 回答者の居住地域（全員対象・単一回答）

	選択肢	利用者	未利用者	合計
1.	廿日市地域	64	261	325
2.	佐伯地域	17	80	97
3.	吉和地域	0	1	1
4.	大野地域	35	55	90
5.	宮島地域	2	6	8
6.	広島市	43	260	303
7.	大竹市	8	48	56
8.	その他	1	4	5
	無回答	3	17	20
	計	173	732	905



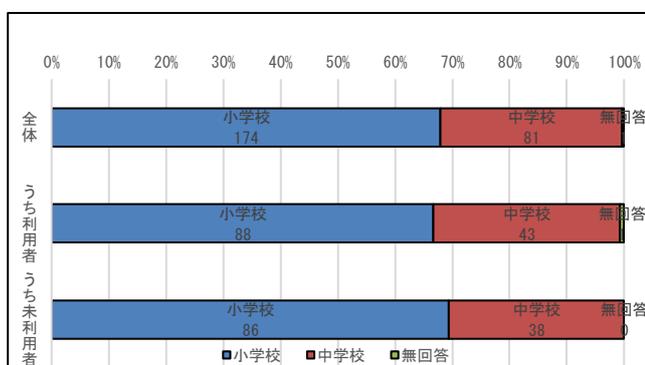
(3) 令和5年度はつかいち市民図書館利用に関する小中学生アンケートの概要

調査対象	廿日市市立小中学校に通う小学5・6年生、中学1・2年生
実施方法	WEBアンケートフォームを設置し、アクセス用QRコードを掲載した案内用紙を学校経由で配布（任意回答）
実施期間	令和5年9月5日（火）～9月30日（土）
有効回答件数	256件

集計結果から自由記述回答を省略して抜粋 単位は回答件数

ア 回答者の通学先（全員対象・単一回答）

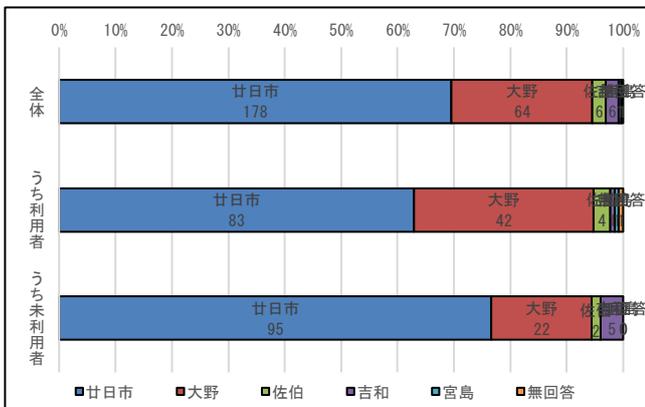
	選択肢	利用者	未利用者	合計
1.	小学校	88	86	174
2.	中学校	43	38	81
	無回答	1	0	1
	計	132	124	256



イ 回答者の居住地

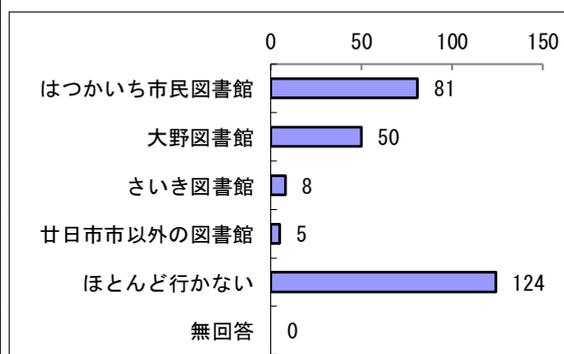
（全員対象・単一回答）

	選択肢	利用者	未利用者	合計
1.	廿日市	83	95	178
2.	大野	42	22	64
3.	佐伯	4	2	6
4.	吉和	1	5	6
5.	宮島	1	0	1
6.	無回答	1	0	1
	計	132	124	256



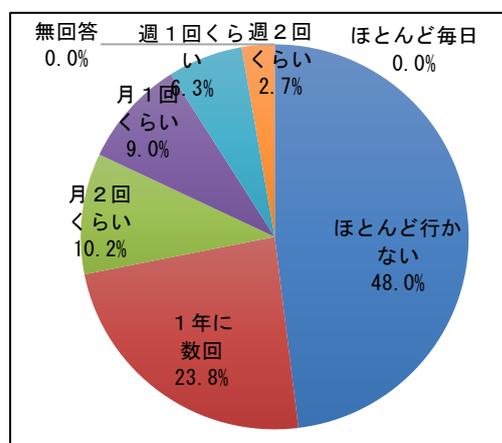
ウ よく利用する図書館（全員対象・2館まで選択可）

	選択肢	回答数
1.	はつかいち市民図書館	81
2.	大野図書館	50
3.	さいき図書館	8
4.	廿日市市以外の図書館	5
5.	ほとんど行かない	124
6.	無回答	0
	計	268



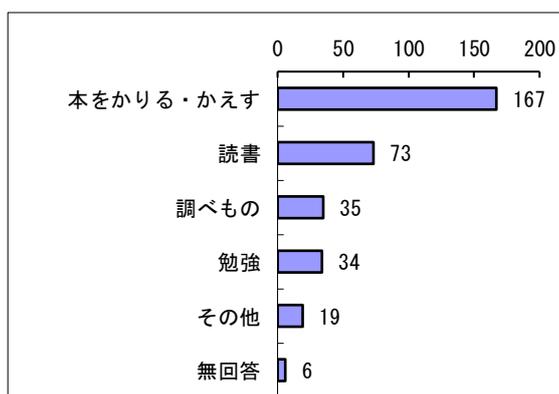
エ 利用頻度（全員対象・単一回答）

	選択肢	回答数	割合
1.	ほとんど毎日	0	0.0%
2.	週2回くらい	7	2.7%
3.	週1回くらい	16	6.3%
4.	月2回くらい	26	10.2%
5.	月1回くらい	23	9.0%
6.	1年に数回	61	23.8%
	ほとんど行かない	123	48.0%
	無回答	0	0.0%
		256	100%



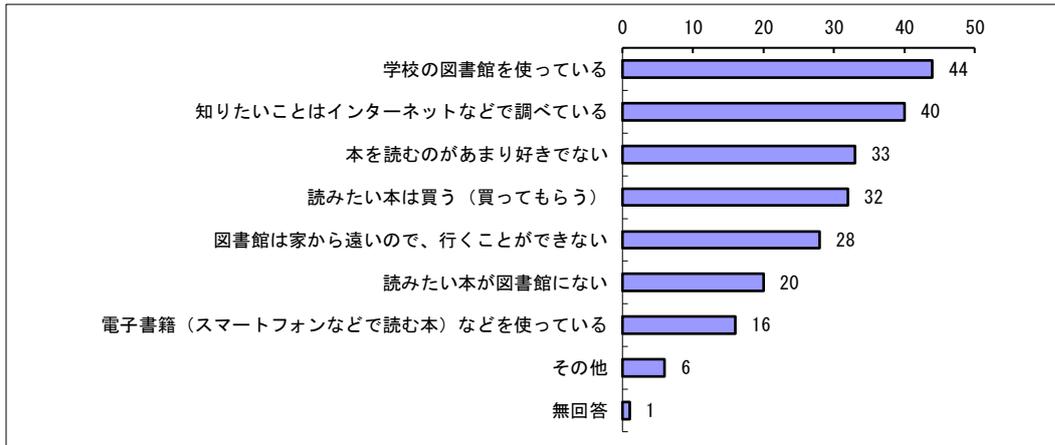
オ 図書館の利用目的（全員対象・複数選択可）

	選択肢	回答数
1.	本をかりる・かえす	167
2.	読書	73
3.	勉強	34
4.	調べもの	35
5.	その他	19
	無回答	6
		334



カ 未利用の理由（未利用者のみ対象・複数選択可）

	選択肢	回答数
1.	本を読むのがあまり好きでない	33
2.	知りたいことはインターネットなどで調べている	40
	図書館は家から遠いので、行くことができない	28
4.	読みたい本が図書館にない	20
5.	読みたい本は買う（買ってもらう）	32
6.	電子書籍（スマートフォンなどで読む本）などを使っている	16
7.	学校の図書館を使っている	44
8.	その他	6
	無回答	1
		220



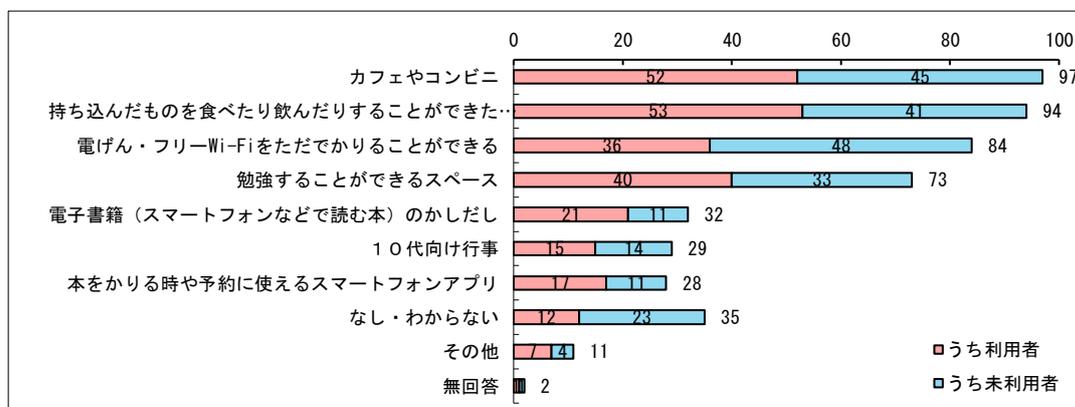
キ 読んでみたい本の種類（全員対象・5点まで選択可）

	選択肢	利用者	未利用者	合計
1.	歴史・伝記	28	23	51
2.	算数（数学）・理科	12	8	20
3.	料理・おかし作り・手芸	28	19	47
4.	スポーツ	22	26	48
5.	物語・小説	71	41	112
6.	中学生・高校生向けの本	13	10	23
7.	まんが	52	64	116
8.	CD・DVD	3	4	7
9.	雑誌	13	8	21
10.	なし・わからない	4	11	15
11.	その他	17	6	23
	無回答	2	1	3
		265	221	486



ク 図書館に増えたら行きたいと思うもの（全員対象・3点まで選択可）

	選択肢	利用者	未利用者	合計
1.	勉強することができるスペース	40	33	73
2.	カフェやコンビニ	52	45	97
3.	電げん・フリーWi-Fiをただでかりることができる	36	48	84
4.	持ち込んだものを食べたり飲んだりすることができたり、おしゃべりできる場所がある	53	41	94
5.	本をかりる時や予約に使えるスマートフォンアプリ	17	11	28
6.	電子書籍（スマートフォンなどで読む本）のかしだし	21	11	32
7.	10代向け行事	15	14	29
8.	なし・わからない	12	23	35
9.	その他	7	4	11
	無回答	1	1	2
		254	231	485



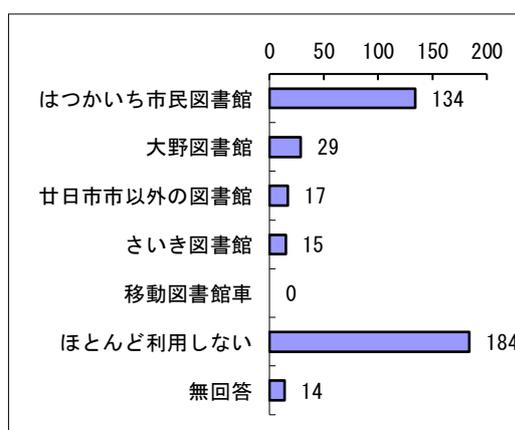
(4) 令和5年度はつかいち市民図書館利用に関する市職員アンケートの概要

調査対象	廿日市市職員
実施方法	職員向けグループウェアのアンケート機能により実施
実施期間	令和5年9月4日(月)～9月30日(土)
有効回答件数	360件

集計結果から自由記述回答を省略して抜粋 単位は回答件数

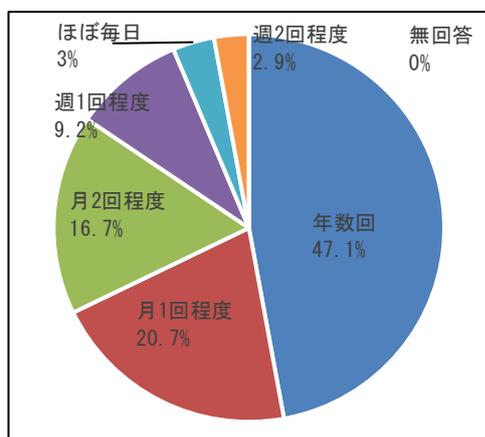
ア よく利用する図書館 (全員対象・2館まで選択可)

	選択肢	回答数
1.	はつかいち市民図書館	134
2.	大野図書館	29
3.	さいき図書館	15
4.	移動図書館車	0
5.	廿日市市以外の図書館	17
6.	ほとんど利用していない	184
	無回答	14
	計	393



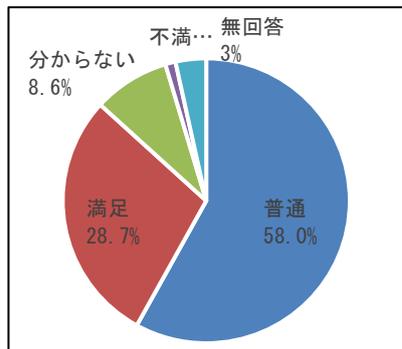
イ 利用頻度 (利用者のみ対象・単一回答)

	選択肢	回答数	割合
1.	ほぼ毎日	6	3.4%
2.	週2回程度	5	2.9%
3.	週1回程度	16	9.2%
4.	月2回程度	29	16.7%
5.	月1回程度	36	20.7%
6.	年数回	82	47.1%
	無回答	0	0.0%
	計	174	100.0%



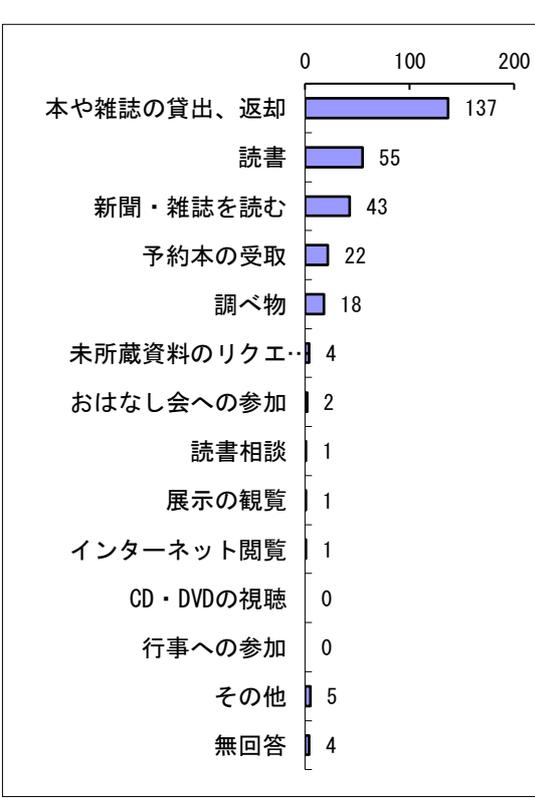
ウ 職員対応の満足度 (利用者のみ対象・単一回答)

	選択肢	回答数	割合
1.	満足	50	28.7%
2.	普通	101	58.0%
3.	不満	2	1.1%
4.	分からない	15	8.6%
	無回答	6	3.4%
	計	174	100.0%



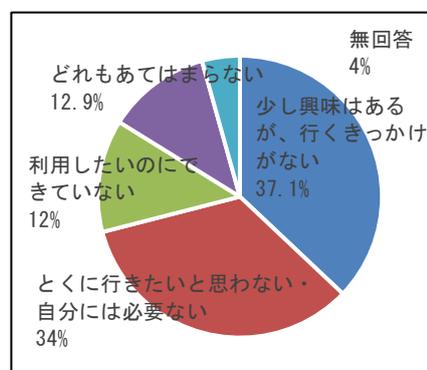
エ 図書館の利用目的 (利用者のみ対象・3点まで選択可)

	選択肢	回答数
1.	本や雑誌の貸出・返却	137
2.	読書	55
3.	新聞・雑誌を読む	43
4.	CD・DVDの視聴	0
5.	調べ物	18
6.	読書相談	1
7.	展示の観覧	1
8.	インターネット閲覧	1
9.	おはなし会への参加	2
10.	行事への参加	0
11.	予約本の受取	22
12.	未所蔵資料のリクエスト	4
13.	その他	5
	無回答	4
	計	293



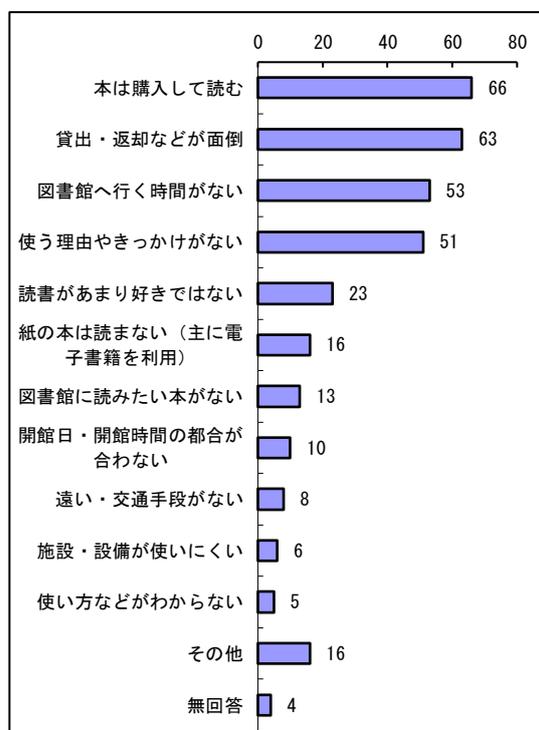
オ 未利用者の意識 (未利用者のみ対象・単一回答)

	選択肢	回答数	割合
1.	利用したいのにできていない	22	11.8%
2.	とくに行きたいと思わない・自分には必要ない	63	33.9%
3.	少し興味はあるが、行くきっかけがない	69	37.1%
4.	どれもあてはまらない	24	12.9%
	無回答	8	4.3%
	計	186	100.0%



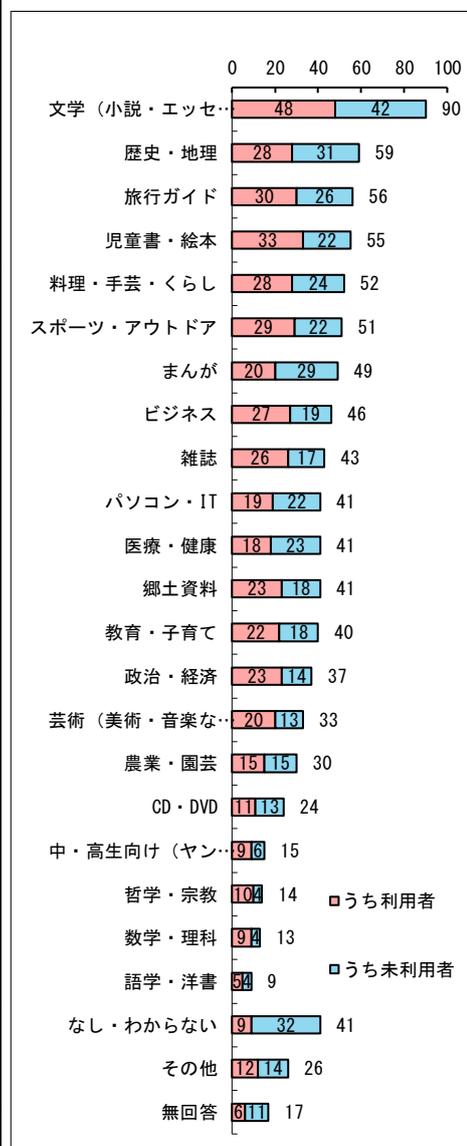
カ 未利用の理由（未利用者のみ対象・複数選択可）

	選択肢	回答数
1.	遠い・交通手段がない	8
2.	開館日・開館時間の都合が合わない	10
3.	図書館へ行く時間がない	53
4.	読書があまり好きではない	23
5.	図書館に読みたい本がない	13
6.	本は購入して読む	66
7.	紙の本は読まない（主に電子書籍を利用）	16
8.	貸出・返却などが面倒	63
9.	施設・設備が使いにくい	6
10.	使う理由やきっかけがない	51
11.	使い方などがわからない	5
12.	その他	16
	無回答	4
	計	334



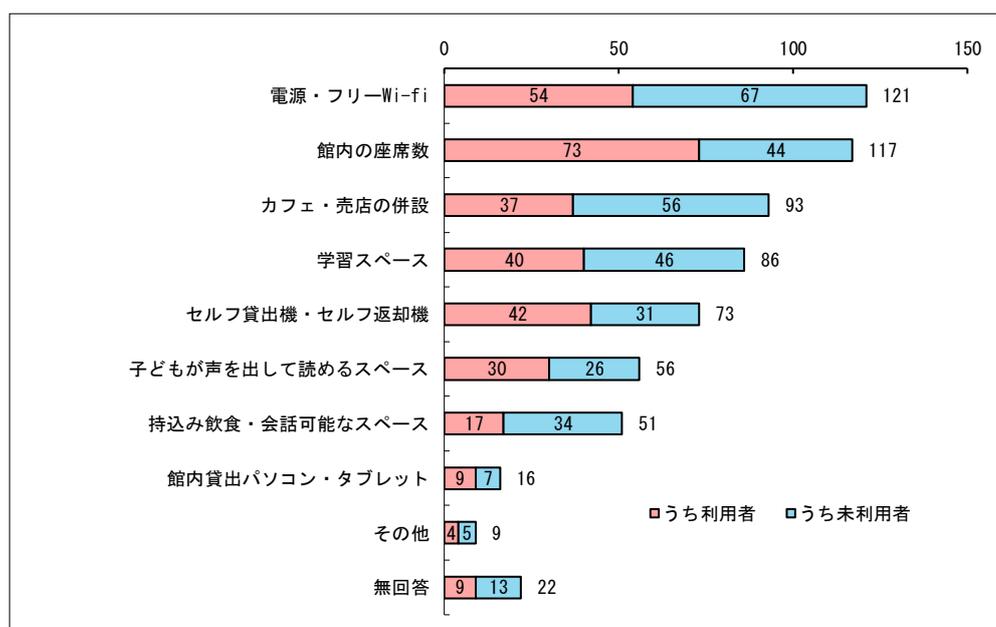
キ 充実を希望する資料（全員対象・5点まで選択可）

	選択肢	利用者	未利用者	合計
1.	パソコン・IT	19	22	41
2.	哲学・宗教	10	4	14
3.	歴史・地理	28	31	59
4.	旅行ガイド	30	26	56
5.	政治・哲学	23	14	37
6.	ビジネス	27	19	46
7.	医療・健康	18	23	41
8.	数学・理科	9	4	13
9.	教育・子育て	22	18	40
10.	料理・手芸・暮らし	28	24	52
11.	農業・園芸	15	15	30
12.	芸術(絵画・音楽など)	20	13	33
13.	スポーツ・アウトドア	29	22	51
14.	語学・洋書	5	4	9
15.	文学(小説・エッセイなど)	48	42	90
16.	郷土資料	23	18	41
17.	児童書・絵本	33	22	55
18.	中・高生向け(ヤング)	9	6	15
19.	まんが	20	29	49
20.	CD・DVD	11	13	24
21.	雑誌	26	17	43
22.	その他	9	32	41
23.	なし・わからない	12	14	26
	無回答	6	11	17
	計	480	443	923



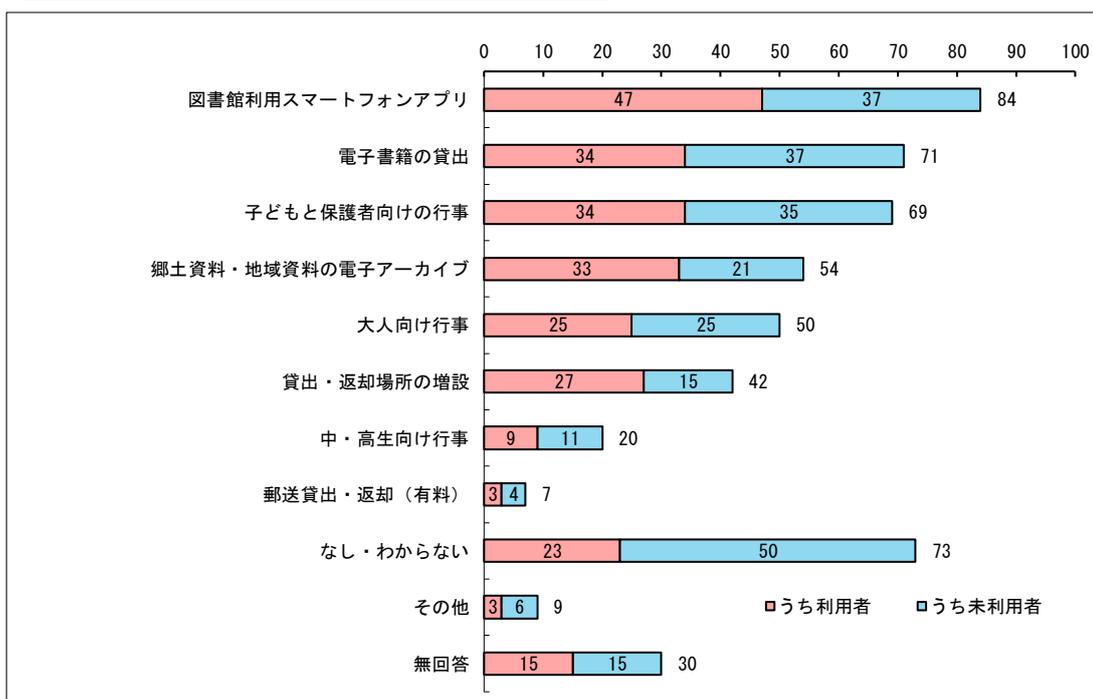
ク 充実を希望する機器・設備（全員対象・3点まで選択可）

	選択肢	利用者	未利用者	合計
1.	館内の座席数	73	44	117
2.	学習スペース	40	46	86
3.	子どもが声を出して読めるスペース	30	26	56
4.	電源・フリーwi-fi	54	67	121
5.	カフェ・売店の併設	37	56	93
6.	持込み飲食・会話可能なスペース	17	34	51
7.	セルフ貸出・セルフ返却	42	31	73
8.	館内貸出パソコン・タブレット	9	7	16
9.	その他	4	5	9
	無回答	9	13	22
	計	315	329	644



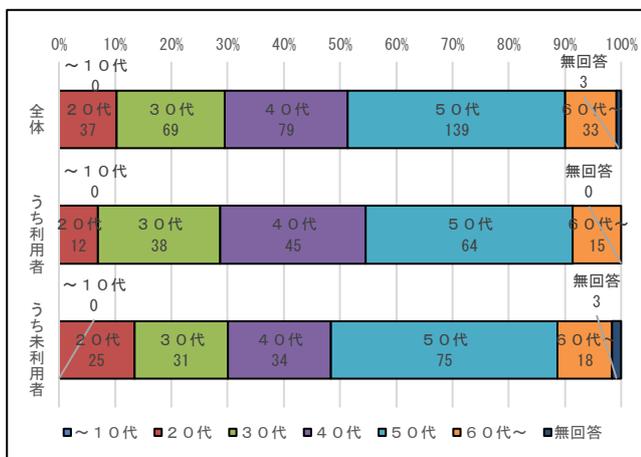
ケ 充実を希望する行事・サービス（全員対象・3点まで選択可）

	選択肢	利用者	未利用者	合計
1.	子どもと保護者向け行事	34	35	69
2.	大人向け行事	25	25	50
3.	中・高生向け行事	9	11	20
4.	郷土資料・地域情報アーカイブ	33	21	54
5.	図書館利用スマートフォンアプリ	47	37	84
6.	電子書籍	34	37	71
7.	貸出・返却場所の増設	27	15	42
8.	郵送貸出・返却(有料)	3	4	7
9.	なし・わからない	23	50	73
10.	その他	3	6	9
	無回答	15	15	30
	計	253	256	509



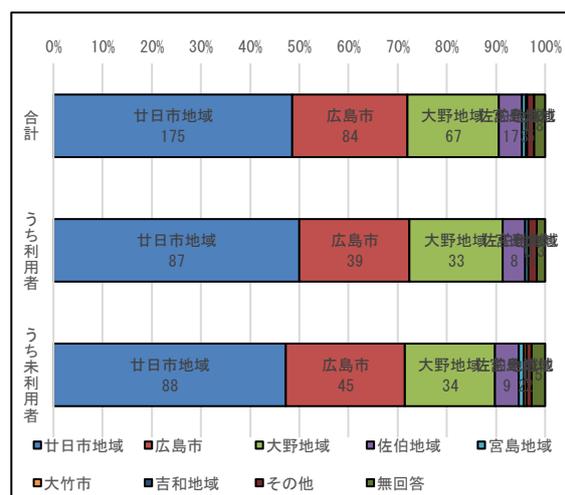
コ 回答者の年齢（全員対象・単一回答）

	選択肢	利用者	未利用者	合計
1.	～10代	0	0	0
2.	20代	12	25	37
3.	30代	38	31	69
4.	40代	45	34	79
5.	50代	64	75	139
6.	60代～	15	18	33
	無回答	0	3	3
	計	174	186	360



サ 回答者の居住地（全員対象・単一回答）

	選択肢	利用者	未利用者	合計
1.	廿日市地域	87	88	175
2.	佐伯地域	8	9	17
3.	吉和地域	0	0	0
4.	大野地域	33	34	67
5.	宮島地域	1	2	3
6.	広島市	39	45	84
7.	大竹市	0	1	1
8.	その他	3	2	5
	無回答	3	5	8
	計	174	186	360



廿日市市図書館基本計画

令和2年3月

令和7年3月〔改定〕

はつかいち市民図書館

738-8501

広島県廿日市市下平良一丁目11番1号